

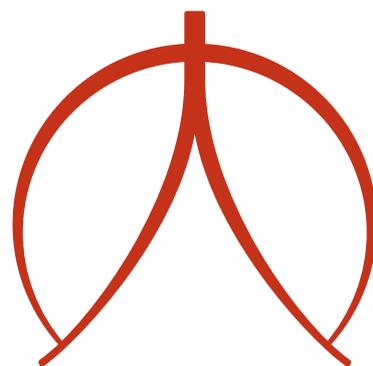
# 大谷大学広報

編集 大谷大学広報編集委員会

## No.176

2008年7月11日

# 2008 夏



夏！何する!? どこ行く!?

2008年度課外活動  
春季大会結果

学問のしおり

ハーヴァード・サンスクリット研究  
山本 和彦

谷大エリア散策

福そば

SQUARE

千年紀と専念機のあいだ？  
織田 顕祐

## 冬扇

かなり以前の新聞でこんな記事を読んだ。その内容は、記憶喪失で約15年間行方不明になっていた男性が、記憶を取り戻して自宅へ帰り、夫を待ち続けていた妻と再会したというものであった。人の記憶の不思議さや、人を思う心の奥深さに驚かされた覚えがある。

先日、「貫練学寮」第3期生の同窓会に出席をした。その年度は、半年間だけ寮監を務めた。幹事の挨拶によれば、寮生活を共にした

のは26年前というから、随分久しぶりの再会である。すぐには相手の名前が出てこない。「ごめん、誰だっけ。」それでも酒を酌み交わしながら話をしていると、あれこれと当時の記憶がよみがえってくるのが面白い。

26年前に聞いた話を突如思い出、「確か高校時代にサッカーをやっていたよね」と尋ねた。彼は少し驚きながら「ええ、やりました」と答えてくれた。双方が

共有している記憶がある。また、こちらの記憶には残っていても、相手が覚えていないこともある。反対に、こちらの記憶にはなくても、「あの時は寮監さんに叱られました」といわれることもある。

人の記憶、そして人と人が関わることの不思議さを、改めて思わされた一時であった。

(藤嶽 明信)

# 夏！何する!?!どこ行く!?!

大学にはなが〜い夏休みがあります。

普段は大学の授業を休まないと行けないところへも、時間の都合をつけることができます。泊まりがけで、遠くまで、あるいは長期間にわたって行くこともできます。ひょっとしたら、身近なところでも思いがけないスポットがあるかも知れません。

それを見越したように、街中にも「〇〇へ行こう!」「△▽開催!」といった言葉を大書したポスターが貼られています。

この夏、あなたはどこへ行きますか。なぜそこに行きたくなるのでしょうか。



## お〜い、ニッポン「クイズ番組」

宮迫 嘉徳

私は6月1日に行われた、学生対抗源氏物語クイズツアーという生放送の番組に、大谷大学の代表として出させてもらった。野球部三名が、その番組に出させてもらったのだが、私は野球部唯一の文学科で、国語の教員をめざしているということもあり、その三人の中に選ばれた。クイズの問題が、源氏物語と平安時代について出題されるということで、源氏物語の勉強をし、源氏物語千年紀展という展示会にも足を運んだ。

どんな形で勝ち残りを決め、どんな形で番組が進んで行くのかもわからず、当日行くことになる。当日行ってみると、1回戦の時点で50人いる各大学代表者を、10人に絞るということであった。1回戦の内容は、〇×クイズと数字当てクイズである。数字当てクイズというのは、1回戦の最後に出されたクイズで、「光源氏が契りを交わした者の最高齢は何歳か?」という問題が出され、数の書かれたボールの中から、自分が答えだと思うボールを選ぶというもので

ある。〇×クイズで生き残った人の中から、答えの57.8歳に近い人10名が2回戦進出である。それに辛うじて10名の中に入り、2回戦に進出することができた。

2回戦の内容は、三択クイズで、出題内容は楽器についてである。そのような問題が出るとは思っていなかった私は、大ピンチ。ここで少し脱線して、番組の構成上、勝ち抜く毎に、光源氏に近付いて行こうという企画であったため、当時の人が付けていた装飾品を勝ち抜く毎に付けていく。したがって、2回戦では、当時の帽子を被っての出演となった。私がしていた上の服装が野球部のユニホーム姿で、その烏帽子を被ったため、違和感あること間違いなし。その違和感を大いに抱きながら、2回戦に臨んだのである。番組の都合上、2回戦は二問だけの出題となった。後からわかるのだが、それが運のつきである。一問目を間違えた私は、二問目は正解にこぎつけるも一問目の不正解が致命的となり、挽回することができず、2



決勝の休憩中

回戦敗退となった。しかし、まだ敗者復活戦があるので、次はそれで決勝にあがることをめざす。

敗者復活戦は「光源氏が契りを交わしたことのある者の名前をできるだけ多くあげよ」というものであった。その中で、一番多く書きなおかつ正解させた者だけが一名、敗者復活戦の勝ち上がりとして決勝進出となる。私は11人正解したのだが、1番にはなれず、敗者復活戦を活かせなかった。そして、学生対抗源氏物語クイズツアーの参加は終了したのである。

一回戦や二回戦とその他の時などでも、テレビにはかなり映っていたので、嬉しかったし、クイズ

番組自体もとても楽しいものであった。そして、とても良い経験ができた。それに加え、番組の出演にあたって、源氏物語について真剣に勉強し、源氏物語に興味を持てたこともかなりの収穫になって

いる。夏休みには、源氏物語に縁のある宇治や須磨、明石に足を運んでみようと思う。

(みやさこ よしのり)  
(文学科 第3学年)



## 一度は古書市へ

天野 勝重

私は基本的には「暑いところにはいかない」というのが信条の根っからのインドア派なのだが、それでも夏休みにはほぼ必ず行くイベントがある。それは下鴨神社で開かれる古書市である。

京都では年に3回大きな古書市が開かれる。5月のみやこめっせ、8月の下鴨神社、11月の知恩寺である。大学院生の頃は院生仲間と連れだって3回とも参加していたが、本学に就職してからはさすがに学期中に開催されている時には参加する余裕が無くなってしまった。なので夏の下鴨神社は、私にとってはほぼ唯一の古書市なのである。また両親が京都観光ついでに古書市に行くのを楽しみにしており、一種親孝行を兼ねていたりもする。

この頃は新刊だけでなく古書もインターネットで探し、買うことができるようになってきている。欲しい本があればその本のタイトルを入れ、「古書」とか「古本」というキーワードを付け加えるだけで全国の古書店のデータが一目でわかり、一番安い値段をつけているところを買えるわけで、非常に効率的であり、経済的である。

では何故わざわざ古書市に行くのか。そこにはやはり古書市にしかない魅力があるのだ。



古書市で衝動買いした  
塩田良平著『山田美妙研究』

そしてそれは第一には、やはり本に囲まれる魅力としか言いようがない。「それなら大きい本屋さんに行けばいいじゃないか」と思われるかも知れないが、「新刊」と「古書」の持つ雰囲気は全く違うのである(皆さんが思い浮かべているかも知れないCDやゲームそしてコミックを中心に扱っている全国チェーンの古書店は今回の話では省いている。私が言っているのは「古書市」に参加するような古本屋さんのことである)。普通の書店に行っても売っているはずのない昔の本がずらりと並んでいるのを見ると、ただ無性に嬉しくなるのである。そしてそうした古書店がまたずらりと並んでいるのが古書市な訳で、その嬉しさは何倍にも膨れあがるのである。

それともう一つの魅力は、思いがけない本との出会いである。これも新刊書でもある話ではあるが、

## CONTENTS

- p. 2…夏! 何する!? どこ行く!?
- p. 6…CAMPUS☆TOPICS
- p.18…keiji☆Ban
- p.26…「ハラスメント防止のためのガイドライン」と「人権問題相談窓口」について
- p.30…2008年度 課外活動春季大会結果
- p.32…2008年度 同窓会支部総会および巡回講演会 一覧
- p.33…学問のしおり
- p.34…谷大エリア散策
- p.35…研究室だより/学会だより
- p.36…大谷中学校・高等学校からのお知らせ  
九州大谷短期大学からのお知らせ
- p.37…出版物紹介
- p.38…学生相談室から/学生数
- p.39…2009年度 入学試験日程
- p.40…TANIDAI FRONT
- p.42…財務の概況
- p.48…SQUARE

## 表紙のことば

サッカーは、計算されたチーム戦術とゲーム中の不測のプレーが絡み合った、魅力を秘めたスポーツです。また、ゴールから生まれる大きな感動は、選手と観客を引き込む一体感を感じさせずにはいられません。大谷大学サッカー部は、現在、念願の関西学生サッカーⅡ部リーグへの復帰に向け、日々トレーニングに励んでいます。クラブという環境は、自分自身を人間的に成長させる、学生時代の大切な経験だと感じています。

サッカー部  
主将 北村 卓大

## 冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたたぬことの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

2008年7月11日発行  
発行 大谷大学企画課  
編集 大谷大学広報編集委員会  
〒603-8143  
京都市北区小山上総町 大谷大学企画課内  
電話 (075) 411-8115  
FAX (075) 411-8149

何となく店先を見ていきながら「そう言えばこの本欲しかったんだ」とか「こんな本があったんだ」という発見、それが古書の場合まさに「一期一会」であるため、喜びもひとしおである。

そんなこんなで8月上旬から中

旬という暑い盛りにもかかわらず、私は今年も古書市に行くのである(去年古書市で1万円で喜び勇んで買ったある本(写真参照)は、後でネットで調べたら復刻版が6,000円位で買えたというのは内緒の話…)

(あまの かつしげ)  
講師 国文学



## 遊びに行かないと

中村 香月

夏になると私は決まって思う。それは「行きたい」という単なる願望ではなく、「行かねばならぬ」といった一種の義務の要素も含まれている感情なのである。なぜ、このような感情を抱くようになったのか。よくよく思い起こしてみると、きっかけは第1学年の夏にあった。

当時、寮生であった私は、夏休みは閉寮すると聞かされていたため、その時期は、実家がある鹿児島に帰ろうと決めていた。加えて、サークルにも入らず、バイトもしていなかったため、体が茹であがるような京都の夏には少しの未練も感じることはなかったのである。

ところが、本来計画していた夏休みぐーたら生活は一変し、なんと中国へ行くことになった。書くときと長くなるので詳しい経緯は省略するが、「軽～い気持ち」で「なんとなく」行ったのは確かである。

さて、この中国旅行中の体験で、あるお土産屋さんに入った時のことである。私は家族や親戚、友人たちのために、たくさんの買い物をした。ふと気が付くと、何とも言えない表情の女性店員がいた。彼女は、年は私と同じ年で、遠い田舎から出稼ぎに出てきたばかりであるとのこと。私が大学生だと

知ると、自分も大学に行きたかったが、弟もいて家族ではひとり分の大学費用すら満足に払えない、だから家族みんなで弟を進学させるために自分は働きにきたのだ、と言った。そして、「海外旅行だなんて本当に羨ましい」とも話した。

途端に私は、籠いっぱいのお土産を持っていることがとても恥ずかしく感じられ、ここにいることが申し訳ないような、とにかく早く日本に帰りたい衝動に駆られたのだ。そして、涙が出そうになるのを必死で堪えなければならなかった。決して彼女に対しての「可哀想」などという感情からではなく、強いカルチャーショックからであった。

私は当たり前のように大学へ行かせてもらい、何ひとつ不自由を感じることもなく生活させてもらっているにも関わらず、これまで特にありがたみを感じずに生きてきた。だが、中国では少し歩いてみるだけで、痩せ衰えた老人が道の側で眠り、幼い子どもが物乞いをしている。

知らなかったのだ。このような世界もあるということ。空腹を感じればおいしい食事をし、眠くなったらあたたかい布団で寝る、



万里の長城

というような私の中の大前提としていた日常が、この地を訪れたことによって、改めて見直された。そして、私が置かれている立場は、私が「立っている」のではなく、周囲の人に「立たせてもらっている」という大切なことに気が付いたのである。

だから私は、「遊びに行かない」と思うのである。「勉強しに行こう」などと気負わず、ふらっと出かけた先で、はっとするような光景が広がっていたり、強烈なカルチャーショックを受けたり、素敵な出会いがあるかもしれない。悩んだり、考えたり、感動したり、気付かされたり、それは自分自身の成長へと繋がると私は信じている。

(なかむら かつき)  
仏教学科第3学年



## 身近な夏を楽しもう

森 亜紀子

就職2年めに心に決めたことがある。1年に1度だけ、海外旅行に行こう！と。1年間の自分へのご褒美と、新たな1年の英気を養うために。そして、自分の常識や価値観とは違う何かを経験してみたい、という気持ちもどこかにあった。

仕事をしているとなかなか長期の休みは取れないので、必然的にお盆の休暇を利用して旅することが多くなった。なので、私の場合「夏だ！行こう！海外へ！」であった。友達を訪ねたり、語学学校に通ったり、小説の舞台を訪ねてみたり、ひとり出かける旅の目的は様々だった。旅行から帰るといつも「次はもう行きたい場所や目的がないなあ」と思うのだが、しばらくすると自然と行きたい場所が湧きでてくるのが自分でも不思議だった。そして、自分のことながら「次はどこへ行くことになるのかしら？」と楽しみでもあった。ところが、ここ3年ほど、そんな自分に異変が起きている。行きたい場所が湧きでてこないのだ。考えてみると、のんびり人生の転機がここ3年に集中して、毎日の生活に変化が多すぎたからだと思う。

さて、今年も大きな変化がひと

つ。7月に入ってから高知県に引っ越した。大学で働いていたころとは違い、恐ろしくゆっくり流れていく時間の中で、就職以来の夏を思いだして後悔していることがある。旅行は楽しんだけど、長年通った京都の夏を少ししか経験していないのだ。人ごみは嫌いだとかなんとか、いつも何かと理由をつけては、いつでも行けると高をくくって後回しにしていた京都の夏の風物詩。引っ越したから、遠くてすぐには行けなくなってしまった。そう思うと、京都の夏がたまらなく恋しくなってくる。数少ないけれど、もう一度行きたいと思う京都の夏のイベントを紹介する。

- ①祇園祭：あまりにも有名な京都の夏祭り。蒸し蒸し暑い夏の夜に、コンチキチンの音を聞き山鉦の提灯のあかりをたどりながら人ごみの中を歩くのは、粋な気がする。夜店も魅力的。
- ②みたらし祭り：土用の丑の日のころに下鴨神社で行われる神事。境内にある御手洗池に足をひたせば、邪気払いできるという。京都には伝統的な神事も多い。
- ③五山の送り火：送り火を見てい



アイルランド グレンダロッホにて

ると、だんだんと消えゆく火が過ぎゆく夏と重なって思われる。

ほかにも京都には夏のイベントが数多くある。外の世界に憧れて、ふらふら旅行ばかりしていたけれど、身近だった京都の夏ももっと楽しんでおけばよかった。身近な夏を楽しむことも、素敵なことだと思う。同じ後悔をしないように、今年は高知の夏を楽しもう。高知の夏だから、やっぱり「よさこい祭り」で決定かな。

(もり あきこ)  
元職員

## 水野有庸先生を偲んで



本学名誉教授・水野有庸先生が、3月11日(火)、79歳でご逝去されました。先生は、14年前の1994(平成6)年3月にご退職され、同年4月名誉教授となられ、1995(平成7)年度非常勤講師として出講されましたが、その後は大学に殆ど出て来られませんでした。しかしまだまだお元気で、ご活躍してくださるものと考えていたものに、突然のご逝去の悲報に接し、ただ驚き悲しむばかりであります。

先生は、1954(昭和29)年3月に京都大学文学部哲学科を卒業後、同大学院で西洋哲学を専攻され、主として古典ラテン語学・古典ラテン文学を研究されました。

1958(昭和33)年4月に本学文学部非常勤講師になられ、1964(昭和39)年4月に文学部助教授に就任されました。私は1963(昭和38)年4月に本学文学部に入学し、第2学年で水野先生にドイツ語を教えていただきました。大変、学識豊かな先生で、できの良くない私

などに対しましても、熱心に指導していただきました。黒板を消す時間が勿体無いと言われ、白いチョークで書かれたあと、黄色、赤、青のチョークを使われて時間いっぱい授業されました。先生の真剣な授業に感化された受講生は数多く、分野・専攻は違いますが、学問を志して教職や研究職に就いている卒業生は少なくありません。

先生は、本学では、ドイツ語とラテン語を教えておられましたが、14年間ほど文学部助教授を勤められ、1978(昭和53)年4月に短期大学部教授になられました。主として国文科で先生のご専門の古典ラテン文学を「西洋古典文学」というテーマで授業されました。あるいは学生たちには、難解すぎて十分に理解できなかったかと思いますが、先生は、少ない受講生に対しましても、手加減されず大変熱心に授業されました。1994(平成6)年3月にご退職されるまで15年間ほど短期大学部教授を勤められました。本学文学部で教鞭をとられた期間と合わせますと、約30年間にわたり、ご指導いただきました。ありがとうございます。感謝申し上げます。

いうまでもなく先生の業績は、数多くあります。著名なものとし

て、世界古典文学全集16『アリストテレス』[1966(昭和41)年8月筑摩書房 共訳]や世界の名著13『キケロ／エピクテトス／マルクス・アウレリウス』[1968(昭和43)年8月 中央公論社 共訳]、『プラトン全集』3巻、14巻[1975(昭和50)年5月、1976(昭和51)年6月 岩波書店 共訳]などがあり、限られた紙数で紹介できません。

先生の学問につきましても、『大谷大学通信』第7号に、先生が「なにを いかにか 学んだか—奇人の軌跡—」という題で、詳細に書かれています。先生は、西洋古典文学の学者であることは言うまでもありませんが、「ラテン語の詩ばかりを書いている詩人」と言われます。『大谷大学通信』第7号をご覧いただきたいと思えます。

生涯、西洋古典文学、特に古典ラテン語学・古典ラテン文学を研究されました先生のご指導・ご鞭撻に対しまして、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文学科国文学コース教授)

石橋 義秀

## 人 事

### 部局長の交代

[学監・事務局長]

長谷岡英信

(前学監・事務局長 藤坂 初裕)

2008年7月1日付

### 退 職

依願退職

[事務職員]

森 亜紀子 (教育研究支援部)

2008年6月30日付

## 田辺繁治教授が「第3回日本文化人類学会賞」を受賞

本学の田辺繁治教授が第3回日本文化人類学会賞を受賞されました。今回の受賞の理由は、長年にわたる北タイ農村部と都市部におけるフィールドワークにもとづく宗教、儀礼、HIV自助グループの実証的研究による貢献はもとより、ハビトゥス・実践コミュニティ・暗黙知といった非言語的な知と技法にかかわる理論的視角をとりこみながら、国家やそれを超越するシ

ステムとの動的な交渉過程としての現代人の生き方そのものを対象化した、日常の実践についての研究が高く評価されたためです。

授賞式は6月1日(日)に京都大学で開催された日本文化人類学会第42回研究大会において行われました。授賞式の後、受賞記念講演「コミュニティを想像するー人類学的省察」が行われました。

(企画課)



授賞式の様子(写真提供：日本文化人類学会)

## 本学学生がアメリカのマーチングバンドで活躍

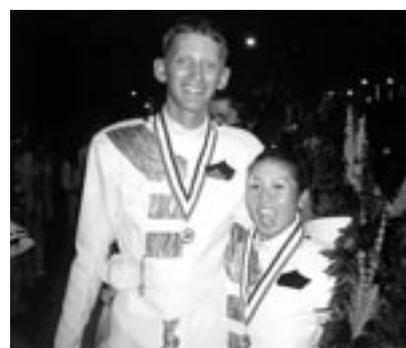
本学の井野口雅子さん(国際文化学科第4学年)は『Drum Corps International(以下DCI)ワールド・チャンピオンシップス』というマーチングバンド世界大会への出場のため、2004年よりトランペット奏者として日米両国を本拠地とするチームに所属していました。しかし、昨年はアメリカのみを本拠地とするマーチングバンドCarolina Crown(サウス・カロライナ州シャーロット)のオーディションに合格し、拠点をアメリカに移して活動していました。そして、2007年8月11日にカリフォルニア州で開催された上記世界大会において団体で6位入賞、個人では最も素晴らしい演技力を持つ人に贈

られる「Most Outstanding Visual」という賞を受賞しました。

マーチングバンドは、もともとアメリカの大学等のフットボールの試合のハーフタイムに、味方のチームを応援しながら観客を楽しませることで相手チームと競いあっていました。それが近年ではマーチングバンド競技として独立し、新しい音楽とスポーツの融合競技として注目されています。その最大の大会となったのが『DCIワールド・チャンピオンシップス』ということです。日本にはまだあまり浸透していませんが、メディアを通して徐々に注目されつつあるようです。

『DCIワールド・チャンピオンシップス』の決勝(上位12団体)に進むまでには、3ヶ月間アメリカ各州をツアーで回りながら本番を重ね、その後にある予選・準決勝で勝ち抜かなければなりません。そのため、井野口さんはアメリカで毎日学校のジムに寝泊りしながらトレーニングを続け、チームの仲間である約150人のアメリカ人と生活を共にしました。

大会に出場できる年齢制限が21歳までのため、井野口さんは最後の年である2007年に大学を1年間休学し、アメリカで活動を続けま



閉会式後、スタジアムの外にて仲間と喜びを分かち合う井野口さん(右)

した。言葉や文化の壁を乗り越え今回の成績を修められた井野口さんは次のように話してくれました。

『今回は私にとって4度目の世界大会出場でしたが、アメリカを本拠地とするチームに所属するのは初めてのことでした。もちろんメンバーやスタッフはアメリカ人ばかり、その上ほとんどが男性で、滞在期間は例年の何倍も長いのです。その中で、以前所属していたチームとのレベルの差を目の当たりにし、不安と孤独でいっぱいでした。』

渡米して最初の2週間、「見慣れない日本人」という立場からスタッフやメンバーには相手にされず、目も合わせてもらえず、悔しい毎日が続きました。しかし、「私が日本人で、女の子だから」なんてただの言い訳だと思いました。



決勝戦でのパフォーマンス(写真提供：Jolesh photo graphy)

認められないのは、こんなくだらない理由ではないのです。文化や人種が違って、音楽が大好きでマーチングに夢中だということや音楽ができる幸せも喜びも、悔しさも悲しみも、感じる心は同じでした。どんな想いでアメリカに来たのか、自分をアピールすることができなかった2週間を寝袋の中で一晩中悔やみました。

それからは「アメリカンには負けん。男にも負けん。誰にも負け

ん。」と歯を食いしばりながら、ライバル心剥き出しで練習しました。その反面、何をやるにもいつでもメンバーたちと過ごし、たくさんのスタッフと騒ぎ、くだらないことでケンカもして、お互いを理解し合いました。汚い英語や卑劣な言葉をたくさん教わりました。仲間を想う心と家族を敬う心も教わりました。

たった一度だけ、本番中に無意識に涙が出たことがありました。

頭の中と体は勝手に動き勝手に演奏しているのに、音と心が、今まで感じたことのないくらいに人と繋っているのに気づいた時でした。諦めなくて良かった。頑張ってた良かった。この世に文化や人種を超える音楽があって本当に良かった。順位や個人賞を獲ったなんてどうでもいいです。この経験が私の一番大切なものになりました。』

(企画課)

## 本学博士後期課程・金偉さんが『万葉集』を出版

中国からの留学生であり、本学博士後期課程第1学年に在学中の金偉(Jin Wei)さんが、このたび、日本古典文学作品のひとつである『万葉集』の中国語訳を行ない、中国の人民文学出版社から『万葉集』(上下2巻 全1381頁)として出版されました。

金さんは、1992年に本学に留学して以来、日本の古典文学を中国語訳する研究に携わり、2006年に

は世界初となる中国語訳『今昔物語集』を出版されており、その後も研究を進め、『古今和歌集』の中国語訳も完成させ、現在では『新古今和歌集』の翻訳作業を行っています。

今回の『万葉集』の出版について金さんは「中国人に日本文学の魅力に気づいてもらい、もっと日本と中国の相互理解と友好につなげていきたい」と話されています。

(企画課)



## 本学卒業生が『MAHĀPAJĀPATĪ: the First Bhikkhunī』を出版

本学大学院博士後期課程を2003年度に修了されたダシュ・ショバラニ(DASH SHOBHA RANI)さんが、5月16日に『MAHĀPAJĀPATĪ: the First Bhikkhunī』をBlue Lotus Booksより出版されました。

ショバさんは現在、真宗総合研究所の特別研究員として<sup>チベット</sup>西蔵文献研究班に所属して「女性と仏教」及び「インドの<sup>はいよう</sup>貝葉写本」の研究をされています。

本書の題名『MAHĀPAJĀPATĪ: the First Bhikkhunī』とは「最初

の比丘尼マハーパジャーパティー」という意味で、お釈迦様の叔母であり養母でもあったマハーパジャーパティー・ゴータミー(Mahāpājāpatī Gotamī)の生涯を初めて一冊の書にまとめ紹介しようとする著書です。パーリ語文献、サンスクリット語文献及び漢訳仏典を用い、最初の比丘尼であったこのマハーパジャーパティーを理想の母、良き妻、信心深い在家信者及び敬けんな比丘尼という四つの視点から考察しています。

(企画課)



## 京都明德高等学校と高大連携事業に関する協定を締結

3月24日(月)、本学は高等学校教育と大学教育との密接な連携をめざして、京都明德高等学校と高大

連携事業に関する協定の締結を行いました。

本学は、2007年度に、京都明德

高等学校が実施する「京都明德キャリアウィーク」においてインターンシップ生、スカラシップ生の

受け入れを行い、また、大学理解教育の一環である「進学対策小論文講座」として小論文セミナーを開講しました。

今回の協定は、継続的に充実した人的、知的資源の交流・活用をめざすもので、本学からは昨年同様、インターンシップ生、スカラ

シップ生の受け入れ、小論文セミナーの開講を行い、一方、京都明德高等学校には、学校インターンシップ、学校ボランティア、教育実習において本学の教職希望の学生を受け入れていただきます。

(企画課)



## 大内文雄教授・延塚知道教授が博士(文学)の学位を取得

このたび本学の大内文雄教授と延塚知道教授が、学位論文を提出され、博士(文学)の学位を取得されました。

授与式は、3月26日(水)と5月7日(水)に、それぞれ本学にて行われました。

◎大内文雄教授

「中國中世佛教史研究 — 佛教史編纂と佛教の地方的展開 —」



大内文雄教授 (3月26日)

◎延塚知道教授

「『浄土論註』の思想究明 — 親鸞の視点から —」

(教務課)



延塚知道教授 (5月7日)

## 佐々木令信先生、白館戒雲先生、友田孝興先生、西田潤一先生に名誉教授の称号おられる

このたび、大谷大学名誉教授称号授与規程に基づき、本学の教育上また学術上、特に功績のあった先生におられる名誉教授の称号

が、佐々木令信先生(日本仏教史)、白館戒雲先生(チベット学)、友田孝興先生(ドイツ文学)、西田潤一先生(物理地質学)におくられまし

た。

授与式は4月1日(火)に学長室において行われました。

(総務課)



白館戒雲名誉教授



友田孝興名誉教授



西田潤一名誉教授

## 海外との交流について

◎首都師範大学訪問団来日

4月4日(金)、学術交流協定校の首都師範大学(中国北京)から劉暁天国際文化学院長ら2名、首都師範大学所属の大学教師訓練機関である北京市高等学校師資培訓センターから李有増主任ら2名が来日されました。首都師範大学とは、

1997年に学術交流協定を締結以来、教員や学生の交流を継続的に実施しています。今回の訪問では、今後の学生交流について協議が行われました。

◎エトヴェシ・ロラード大学訪問団来学



フデツ・フェレンツ学長(右)と握手を交わす木村学長

4月15日(火)、昨年10月に学術交流協定を締結したエトヴェシ・ローランド大学(ハンガリー ブタペスト)のフデツ・フェレンツ学長、ハマル・イムレ博士、山地征典博士の3名が本学を表敬訪問されました。ローランド大学は仏教研究において本学との交流に期待を寄せており、3名の先生方は、真宗総合研究所や図書館にある資料を手に取りながら、時間をかけて響流館内を見学されました。木村学長との会談では、欧州連合(EU)と日本政府が共同で実施する学生交流プロジェクト(Industrialised Countries Instrument Education Cooperation Programme)や学生の交流等について協議が行われました。今後、本格的な交流が始まれば、両校の仏教研究の成果が相互の学生や研究者に還元されていくことと思われます。



知進守退の碑の前での記念撮影

#### ◎普陀山仏教協会訪問団来学

4月22日(火)、23日(水)にかつて本学で外国人留学研究生として学ばれた門肅法師をはじめとする中国普陀山仏教協会の訪問団9名が本学と東本願寺を訪問されました。普陀山仏教協会は、かねてより教育学院(佛学院)の設立事業を進めておられました。今般、教育学院の建物が完成し、大学における仏教教育カリキュラムや単位認定方法を視察するために、来学されました。尋源講堂で勤行をされた後に総合研究室を見学し、日本仏教について熱心に質問されました。東本願寺を参拝された際には、本学の理事長が中国語で挨拶をし、和やかな雰囲気での歓談となりました。今後、教育学院において仏教学の学問的研究を進めるため、本学教員の派遣などを希望されています。

#### ◎木村学長が韓国を訪問

5月16日(金)~20日(火)に木村学長、宮崎入学センター長、平野博物館主事、八木教育研究支援課長が韓国を訪問しました。学術交流協定校の東國大(ソウル)では、韓

国佛教学結集大会に参加するとともに、昨年、東國大(ソウル)博物館と締結した学術交流協定に基づき、鄭于澤博物館長を本学へ招聘することについて協議を行いました。また、本学韓国同窓会会長の金大植氏(1999年度博士学位取得)をはじめとする韓国で活躍する卒業生との面談も行いました。その後、2000年度に本学で博士の学位を取得された陰富炯法師を訪問しました。陰富炯法師は現在、東鶴寺僧伽大学教授として活躍しておられます。昨年ソウルで開催した韓国帰国留学生同窓会の際に、韓国の仏教系大学をぜひ視察してほしいとの招待を受け、今回の訪問が実現しました。

(教育研究支援課)



鄭于澤博物館長(左)と握手を交わす宮崎入学センター長

## 若葉祭を開催

新入生を歓迎する若葉祭が4月5日(土)に開催されました。当日は晴天に恵まれ、例年以上に活気あふれた若葉祭を楽しむことができました。

特設ステージは、音楽系のクラブや同好会などによるライブで始まり、10月に開催が予定されている第6回京都学生祭典からの創作ダンス、そして最後はビンゴゲームで締めくくられました。イベントでは豪華賞品が用意され、大勢の新入生と在学生在と一緒に楽しん

でいました。

構内に設けられたテントでは、各クラブによる新入生の勧誘が行われ、クラブの説明を聞く新入生と各クラブ部員の楽しそうなやりとりが見られました。新入生歓迎実行委員会の本部テントでは、「なんでも相談コーナー」が置かれ、新入生からの質問に親身になって答えている実行委員の姿が印象的でした。

1号館の各教室では、文化系のクラブなどが、活動記録や作品の

展示、また催しものを企画し、新入生のみならず在生たちも見入っていました。

(学生支援課)



「なんでも相談コーナー」の様子

## 国際文化学科 新入生歓迎公開講演会を開催

国際文化学科では、4月17日(木)、響流館メディアホールにて、北インド・ドラムサーラにあるタントン・ルガル・チベット舞台芸術団の創設者プンツォク・ツェリン氏をお招きし「音と舞の輪：チベットの伝統音楽」と題する講演会を行いました。

撥弦楽器「ダムニェン」、擦弦楽器「ピワン」を使っての弾き語りや、太鼓やシンバルの演奏、チベット歌舞劇「アチェ・ラモ」で演唱されるアリアの実演を交え、

中国やカシミールの影響を受けつつ熟成されたチベット伝統音楽の歴史と現状についてお話いただきました。講演の後半には、舞踊の実演があり、客席の中から学生数名が舞台に上り、講師指導のもと輪になり、ともに舞いました。聴衆は、弦楽器の美しく繊細な音色と、打楽器の力強さ、天に駆け上るような歌声に酔いしれながら、チベット伝統音楽の世界を堪能しました。最後に講師は、壇上より感謝の意を込め、主催者である学

科教員一人ひとりに白いスカーフ「カター」を贈り、3月10日以降のチベットの厳しい状況に触れ、理解を求めました。

(国際文化学科)



プンツォク・ツェリン氏

## 「大学地域連携モデル創造支援事業」報告会で本学学生が報告

4月25日(金)、キャンパスプラザ京都で開催されました「大学地域連携モデル創造支援事業」2007年度助成事業報告会におきまして、本学人文情報学科の松川ゼミから、代表者として安達 楽さんが2007年度選定事業「紫明まちづくりプロジェクト～マルチメディアによる情報配信～」の活動内容につい

て報告されました。

安達さんは、Power Pointを使用して、2007年度に松川ゼミにおいて取り組んだ、大学周辺の紫明地域の文化歴史や店舗などを紹介するフリーペーパーやDVD、ホームページの制作や、イメージキャラクターの公募、学園祭中の講演会開催について報告されました。

(企画課)



報告を行う安達さん

## 旭丘中学校「生き方探究・チャレンジ体験」を受け入れ

5月19日(月)～23日(金)の期間、京都市立旭丘中学校の生徒2名が「生き方探究・チャレンジ体験」として本学において職業体験を行いました。この制度は21世紀の社会を担う中学生に、それぞれの興味や関心に応じた多彩な職場体験や勤労体験の機会を提供し、自らの在り方と生き方を考える機会を生み出すことを目的としています。

今回、本学において体験学習をされた辻祥子さんと廣瀬美奈さんには、企画室(現企画課)、進路就職センター(現キャリアセンター)、博物館、図書館での仕事を体験していただきました。

企画室ではPower Pointによる大学紹介用原稿の作成と大学見学

者へのプレゼンテーション体験、進路就職センターではガイダンス用プリントの作成・印刷や告知ポスターのデザイン製作、博物館では受付業務と拓本の取り方や文献の取り扱い体験、図書館ではカウンター業務や図書の装備に取り組んでももらいました。

仕事の大変さや、やりがいを感じたいと意気込んでいた二人は体



プレゼンテーション体験  
写真撮影：辻さん 写真左：廣瀬さん

験を終えて「普段、体験できない事務の仕事や、Power Pointを使って他校の中学生に大谷大学のことを紹介するため、大谷大学で働く職員の方々にどんな仕事をされているのかインタビューをしたりと様々な体験をさせていただきました。この体験を通して感じたことは、思っていたより力仕事が多く、とても大変でした。事務の仕



完成したポスターを貼る様子

事を手伝わせていただいて仕事の  
大変さがよくわかりました。ここ  
で学んだことをこれからの生活に

活かせたらと思います。」と話  
してくれました。

(企画課)

## 文化学科 新入生歓迎講演会を開催

5月21日(水)、響流館メディアホ  
ールにて、文化学科新入生歓迎講  
演会が開催されました。講師に株  
式会社フロントフィールド代表取  
締役の前原謙一氏、共演として劇  
団ひまわりに所属している田中宗  
利氏、劇団ガバメントに所属して  
いる近藤貴久氏をお迎えしました。

『～「発想」は出発。「創作」は  
過程。「表現」は結果。～』と題し  
た講演会では、まず漫才師として  
出発した前原氏が、劇作家兼イベ  
ントプランナーとして活躍される  
現在に至った経歴を話されました。  
さらに、舞台に立つ側・裏方とし  
て支える側の両方からのお話をし

ていただきました。

次に、前原氏が企画をされた、  
作戦ガラパゴスMission 1「コンス  
タンツェ モーツァルト」の公演  
の様子を本学人文情報学科の柴田  
ゼミの学生が撮影・編集をした映  
像をスクリーンで上映しました。

その後、本学学生の中大路紀子  
さん(文化学科第1学年)が舞台に  
上がり、演出担当の田中氏、俳優  
の近藤氏とともに、舞台がどのよ  
うにつくられていくかを実演して  
いただきました。

会場には学内外から約70名の聴  
衆を集め盛況となりました。舞台  
にあがった中大路さんは「プロの

俳優さんと一緒に空間を作り上げ  
るのは初めてで、でも何故か緊張  
はしませんでした。機会があれば  
また舞台に立ちたいです。」と感  
想を述べられました。

(企画課)



実演の様子(中央:中大路さん)

## 大谷学会春季公開講演会を開催

去る5月23日(金)、大谷学会春季  
公開講演会がおよそ500名の聴衆  
参加のもと開催されました。今年  
度の講師・講演題目は以下の通り  
です。

大谷大学教授 安富信哉氏

「浄土の眷属 —『王舎場の悲劇』  
に照らし返されるもの—」

京都大学霊長類研究所所長 松沢  
哲郎氏

「チンパンジーから見た世界」



安富信哉教授

『観無量寿経』には、マガダ国  
王子阿闍世が王舎城において父を  
殺そうとする、家庭内の殺人とい  
う絶望的な状況のなかで、仏陀釈  
尊との出遇いによって妃韋提希夫  
人が救われることが物語られてい  
ます。この物語は2千年以上も前  
の出来事です。安富教授は、人間  
の抱えもつ問題性を現代に通ずる  
ものがあるとして、この悲劇を手  
がかりに、釈尊の教えの大乗性や  
浄土教が現代に生きる私たちに示  
唆するところをわかりやすくご講  
義くださいました。

比較認知科学をご専門とされる  
松沢先生は、チンパンジー・アイ  
との「アイ・プロジェクト」のご  
研究でご高名な先生です。人間の  
身体が進化の産物であるのと同様  
に、人間の心も進化の産物だと説  
いておられます。しかし、心や脳  
は化石には残りません。そこで、

5百万年前に共通の祖先をもつチ  
ンパンジーと人間を比較すること  
で、人間の心の進化を想像するこ  
とができると述べておられます。  
ご講演の冒頭に、ゲノム(遺伝情  
報)の解析が進んだ21世紀におい  
て、ヒトとチンパンジーとのゲノ  
ムの違いは1.23%に過ぎないとい  
うことがわかったとのご紹介があ  
りました。比較認知科学のご研究  
を通して、人間の心や親子関係、  
文化、環境の問題などに論及され、  
とくに、命あるものは皆つながっ  
ているということが印象に残るご  
講演でした。

(大谷学会)



松沢哲郎氏

## パネル展を開催

大谷大学真宗総合研究所・<sup>チベット</sup>西藏文献研究班では、東インド・オリッサ州にあるSARASVATI研究所と共同で、同研究所所蔵の約8000点にもおよぶ未整理の<sup>貝葉</sup>貝葉写本のカatalog化をおこなっています。

その研究成果公開の一環として、5月26日(月)から6月6日(金)まで響流館1Fギャラリーにて、「木の葉で物語る：東インドの貝葉写本文化」と題するパネル展を開催しました。貝葉とはターラ樹の葉を乾燥・加工し、紙の代わりとした

もので、南アジア・東南アジアの各地域で用いられていましたが、その伝統は失われつつあります。一方オリッサでは、その伝統が、単に文字を書くだけでなく、絵を描いたり、貝葉自身を様々な形に仕上げたりと、芸術的志向を持ちながら残っています。まだ十分に知られていない、オリッサの貝葉写本文化を紹介することが、今回のパネル展の目的でした。会場には、神様の像や仮面、染め物なども展示され、インド文化の香りを

感じさせるものとなりました。

期間中、同会場では学内有志による「未完成のチベット写真展」も行われました。

(真宗総合研究所・西藏文献研究班)



パネル展の様子

## 「宗祖誕生会」を厳修

宗祖親鸞聖人の御誕生会が5月31日(土)午前10時から、講堂において、来賓、教職員、在学生、一般来聴者約450人の参加を得て厳粛の内に厳修されました。

勤行に引き続き、学長挨拶、記念講演が行われました。

今年度の記念講演は、講師に山形大学人文学部人間文化学科教授で東京大学文学博士の松尾剛次氏を迎え『親鸞聖人と叡尊一戒律をめぐる二つのベクトル』の講題で講演をいただきました。

(総務課)



松尾剛次氏

## アメリカ民謡研究部が北区民ふれあい事業に参加

6月1日(日)、北区の船岡山公園で開催されました「北区民春まつり～ふれあいまつり2008～」に、本学からアメリカ民謡研究部が参加し、会場を盛り上げました。

「北区民春まつり」は、子どもから高齢者まで、幅広い区民の交流・出会いの場を設け、地域の活性化を推進し、区民相互の親睦と交流を深めることを目的に毎年開催されています。

今回のアメリカ民謡研究部の出演は、北区役所が行っています「北区 地域と大学つながるネッ

ト」を通じて、北区民ふれあい事業実行委員会から依頼があったものです。

今回出演されたのは、アメリカ民謡研究部の部長を務める井上純一さん(社会学科第3学年)を中心に5名のメンバーで構成される「武蔵丸」の方々と、野外特設ステージにおいて「Don't you go away」を含む5曲を熱唱されました。今回の出演について井上さんは「今回、依頼をいただいたことを非常にうれしく感じています。私達も楽しめましたし、来場さ

れた方々も楽しんでいただけたのではないのでしょうか。学内では地域の方々とふれ合う機会が少ないので、このような機会があればいくらかでも協力させていただきたいです。」と感想を述べられました。

(企画課)



武蔵丸のメンバー

## “人権問題を共に考えよう” 全学学習会を開催

去る6月11日(水)、今年度第1回の“人権問題を共に考えよう”全学学習会(主催:人権センター、会場:本学講堂)を開催しました。今回は、DVのない社会をめざし活動する民間団体、「awareアウェア」よりDV加害者プログラム&デートDV防止プログラム・ファシリテーター山口のり子氏を招いて、学生にとって身近な問題ともいえるデートDVについて学習しました。

この学習会は、人権教育推進委員会第4部会(性差別問題部会)がチーフとなり、第3部会(障害者差別問題部会)と共に、テーマの設定、講師の決定並びに依頼、準備と実施に至るまでを担当し、開催しました。なお当日は約200名の聴衆が参加しました。数名の学生が講師の呼びかけにより登壇、ロールプレイするなど、積極的に参加していました。

さて、山口氏の講演は、恋人同士や夫婦などの親密な関係の場面での、様々な暴力による支配、それを容認する意識、背後にあるジェンダーバイアスなどについて、DVDやチェックリストによる自己診断、舞台上でのロールプレイなどを通じ気づくこと、さらにそれを学びつつ、具体的な場面で対応していく力をつける、といった内容に重点が置かれていました。「自分で選ぶ自分らしさ」「共感する」こと、「怒りを態度や行動で表さないで言葉で伝えること」など、人との関係を築く上で基本的事柄がもりこまれ、それを体験的に学習するよい機会となりました。

(人権センター)

容に重点が置かれていました。「自分で選ぶ自分らしさ」「共感する」こと、「怒りを態度や行動で表さないで言葉で伝えること」など、人との関係を築く上で基本的事柄がもりこまれ、それを体験的に学習するよい機会となりました。

(人権センター)



ロールプレイの様子(右:山口のり子氏)

## 博物館講演会を開催

去る6月14日(土)、昨年10月に締結した東國大博物館と本学博物館の交流協定を記念して、東國大博物館館長の鄭于澤氏による講演会「高麗仏画に見る韓国と日本」を開催しました。

高麗と日本の仏画を比較して、それぞれの作意の異なりを指摘し

つつも、一括の東アジア文化として見ていきたいと話されました。約九十名の方が来場され、熱心に聴講されました。

(図書・博物館課)



鄭于澤氏

## 大谷幼稚園探検隊が本学を訪問

6月19日(木)、大谷幼稚園の年長児61名が本学を訪れました。北門から2号館への道々、園児たちの鼻はピクピク。「あーっ、パンのにおいや」「パンやさん？」至誠館の前になると「インクのおいがるで」ちびっ子探検隊員は鋭く反応します。「大谷幼稚園探検隊」は1994年から、幼児教育保育科と幼稚園の交流の一環として行われているものです。

午前中は、グループを組んだ学生と子どもたちが大学内を探検しました。メディアホールでは、大

スクリーンに映る自分に目を丸くしてキョロキョロ、情報処理室ではパソコンのお絵かき、音楽実習室では楽器演奏、保育実習室では大きな紙一面に思いきりお絵かきなど、様々な体験をしました。梅雨空の、広くて少し薄暗い構内も探検気分を盛り上げてくれました。

午後は体育館アリーナで、サッカー・飛び箱・マット遊び・大縄跳び・玉入れ・大玉転がし・ペットボトルボーリングなど運動あそびを楽しみ、広い体育館いっぱいに子どもたちの歓声が響きわたり

ました。子どもたちの笑顔に、学生もさわやかな気分を味わえた1日でした。

(幼児教育保育科)



お絵かき体験の様子

## 大谷幼稚園開放セミナーを開催

6月21日(土)、宇治市木幡の大谷幼稚園にて、大谷幼稚園開放セミナーが開催されました。このセミナーは、大谷幼稚園の地域開放・住民の生涯学習に資する機会として開催したものです。今回は、本学の谷口奈青准教授が講師を担当し「どうしてウチの子だけ…」というテーマで講演を行いました。

谷口先生は、「多くの保護者が実は“どうしてウチの子だけ…”と悩んでいる」こと、「他の子と比べてしまうのは、幼稚園入園と子どもの個性が出始める発達段階が重なるため個性が際立って感じられる」こと、「大事なことは、子どもは成長する存在なので“将来が心配”と焦らない」こと、などをカウンセリングの経験をふまえ

紹介いただきました。参加いただいた方々には、「子どもの個性に合わせて見守り育てるには、自分がどうかかわればよいのか」について、再確認する機会となったのではないのでしょうか。

また当日は、保護者の方々が谷口先生のセミナーを受講している間、幼児教育保育科と児童文化研究会の学生が子どもたちに人形劇や手遊び等をしてくれました。



セミナーの様子



人形劇後の遊び

## 博物館春季企画展を開催

4月1日(火)～26日(土)の会期で、春季企画展「真宗大学と清沢満之」を開催しました。春季企画展では、例年、とくに新生に大谷大学の歴史を知ってもらうため、「大谷大学のあゆみ」をテーマとして本

学の歴史を所蔵資料で紹介しています。文学部第1学年の必修科目「人間学」の時間を活用した観覧も多く、約800人の来館者が大谷大学の歴史に触れました。

(図書・博物館課)



## 博物館夏季企画展のご案内

韓国の東國大・大谷博物館と本館との交流協定締結を記念して、「中国・韓国の文物と典籍」をテーマに、夏季企画展を開催しています。今回の企画展では、本館が所蔵する中国古印や韓国国宝の奉徳寺鐘の拓本、経典・書物等を紹介し、

中国、韓国の仏教文化への理解がますます深まることを期待しています。

在学生・同窓生は無料で入館していただけますので、ぜひご観覧ください。

会期：開催中～2008年8月4日(月)

(休館日 日・月曜日、

但し8月3・4日は開館)

(図書・博物館課)

## 3号館にマッキントッシュ教室が整備されました

本学の開発によるチベット語システムが標準搭載された「Mac OS X 10.5 Leopard」が販売されています。

本学3号館にもこのOSを搭載したMacintoshで構成された教室を1室整備しました(3201教室)。iPod、iTunes、またはiPhoneでおなじみのメーカーのコンピュータ

チベット語のみならず、グラフィック制作、データベース、プログラム開発、文書作成等々、幅広く活用されています。

なお、3号館は人文情報学科専用棟なので、その他の学科のみなさんも使えるよう、総合研究室にも4台設置しています。どうぞご利用ください。



3201教室の様子

## 大谷大学オリジナルグッズが完成

大谷大学オリジナルグッズとして、オリジナルタンブラーとHELLO KITTYストラップに引き続き、オリジナル瓦せんべいが完成しました。

瓦せんべいの価格は1,000円(18

枚入り)で、校章や尋源館など大谷大学に関連した6種類の焼印を使用しています。購買部で販売していますので、ぜひお買い求めください。

(企画課)

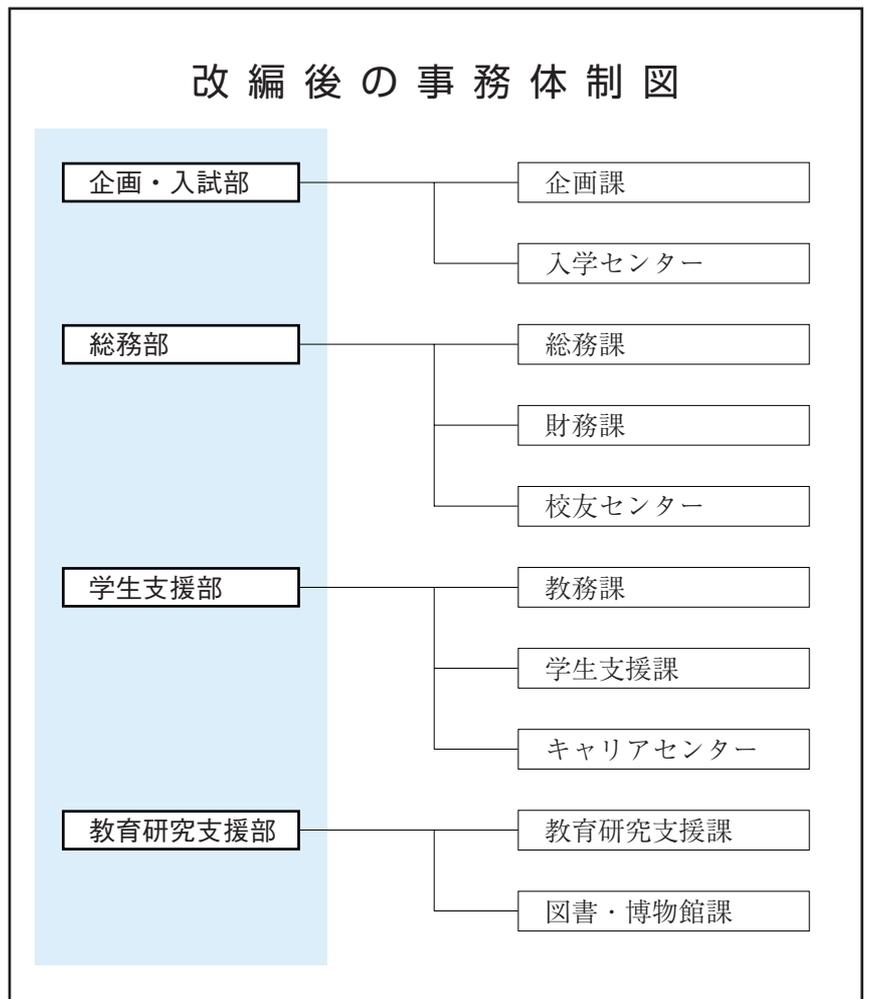


## 事務組織改編のお知らせ

6月1日より事務組織が改編されました。学生のみなさんに関係する事務窓口では、「教務部」が「教務課」に、「学生課」が「学生支援課」に、「進路就職センター」が「キャリアセンター」に名称変更となり、この3部署を統合して「学生支援部」となりました。

但し、業務内容、窓口の場所につきましては変更ありません。

(企画課)



## 総務課

### 暁天講座の開講

今年度の暁天講座を次のとおり開講いたします。

- 7月23日(水) 小谷信千代 本学教授  
「聞熏習について」
- 7月24日(木) 木場 明志 本学教授  
「浄土真宗の「真」の意味をたずねて」
- 7月25日(金) 鍵主 良敬 本学名誉教授  
「法蔵菩薩のなりのり」

\*いずれも講堂において、午前6時30分から開講します。

\*終了後、学内食堂において、朝粥を用意しております。

### 安居の開講

真宗大谷派の今年度の安居が、本学において次のとおり開講されます。

期間 7月15日(火)～7月29日(火)

場所 大谷大学

なお、開講式(7月15日)と満講式(7月29日)は、真宗本廟阿弥陀堂において行われます。

講本・講者

〔本 講〕 『顕浄土真仏土文類』

講師 鍵主 良敬

〔次 講〕 『宗名往復録』

擬講 木場 明志

\*安居(あんご)とは、梵語(ほんご)varṣaまたはvarṣikaの訳語で「雨期」の意。古来インドでは、夏の雨期になると遊行(ゆぎょう・僧が諸国をめぐって説法、教化すること)が難しく、また、草や虫を踏み殺してしまう恐れがあるところから、精舎と呼ばれる窟院に住して修行した故事による、と言われていています。僧侶が雨期などある一定期間外出しないで一定場所に居住し、学習することをいいます。

## 教務課

### 前期定期試験について

- 今年度の前期定期試験は、7月23日(水)より8月1日(金)までの期間に実施します。
- 試験方法・時間割等詳細は、7月9日(水)に掲示します。
- 教務課提出のレポート受付は次のとおりです。
  - 受付日時／7月29日(火)・30日(水)
  - 10:00～18:30(時間厳守)
  - (18:30を過ぎたものは一切受け付けません。注意してください。)
  - 受付会場／文学部・大学院……………J103教室
  - 短期大学部……………J102教室

### 真宗大谷派教師前期修練について

文学部第3学年を主たる対象とする前期修練は次のとおり行われます。受講予定者は掲示板で受講班を確認してください。

第1班 8月5日(火)～8月11日(月)

第2班 8月19日(火)～8月25日(月)

第3班 8月30日(土)～9月5日(金)

第4班 9月6日(土)～9月12日(金)

## 前期追試験について

病気等の理由で前期定期試験を受験できなかった場合には、教務課へ出願し許可されれば、次のとおり追試験を受験することができます。(許可理由等の詳細は『履修要項』で確認してください。)

### ①出願期間

当該科目試験日から1週間以内。ただし、7月30日(水)～8月1日(金)の試験については8月6日(水)が出願の締切りになります。

### ②追試験要項および時間割発表

8月21日(木)

### ③追試験日

8月25日(月)・26日(火)

## 集中講義期間について

今年度の集中講義期間は次のとおりです。各科目の日程については時間割表や掲示等で確認のうえ、受講してください。

### 集中講義期間

9月1日(月)～9月12日(金)

なお、教室については掲示でお知らせします。

## 後期の日程について

9月18日(木)より後期授業が始まります。また、この日に前期成績を反映した「履修単位通知書」を配付しますので、学生証を持参のうえ、講堂棟1階ホワイエにて受領してください。

9月24日(水)～9月26日(金)は登録修正期間です。前期成績評価の結果、登録の修正が必要な場合はこの期間中に手続きをしてください。登録修正をした学生は、10月6日(月)～10月8日(水)に「聴講登録確認票」を配付しますので、必ず教務課にて受領のうえ、確認をしてください。また、『学生向け情報提供システム』【聴講登録確認】への反映は、10月3日(金)の予定です。修正の可否、追加募集科目等の詳細は7月中旬に掲示および『学生向け情報提供システム』にてお知らせします。

なお、9月23日(火)、11月3日(月)、11月24日(月)は祝日、振替休日ですが、通常どおり授業が実施されます。※後期授業開始日の9月18日は木曜日ですが、月曜日の時間割にて授業を実施しますのでご注意ください。

## 卒業研究の提出について

### ◎卒業研究提出・題目変更締切日について

明年3月、短期大学部卒業見込み学生は、右記の一覧表で卒業研究提出締切日等を確認のうえ、期日を厳守してください。

なお、題目を変更する場合は、所定の「題目変更届」を教務課窓口で受取り、指導教員の承認印を得たうえで、右記の題目変更締切日時まで教務課へ提出してください。

### ◎提出場所について

教務課窓口へ提出してください。

なお、論文提出締切日のみ至誠館2階会議室へ提出してください。

### — 提出締切日時について —

| 種 別             | 題目変更締切日時       | 論文提出締切日時       |
|-----------------|----------------|----------------|
| 卒業研究 (仏教科・文化学科) | 10月24日(金)17:00 | 10月31日(金)16:00 |
| 卒業研究 (幼児教育保育科)  | 11月24日(月)17:00 | 12月1日(月)16:00  |

### (注意事項)

■論文等の提出方法や様式については、『履修要項』・『卒業研究作成の手引』で確認してください。

■ワープロ使用や縦書・横書等の様式については、学科等により制限事項が異なりますので、事前に指導教員と相談してください。

なお、ワープロを使用する場合、所定の書式以外で提出する場合は、題目変更締切日までに

「ワープロ書式所定外作成届」を提出してください。

■論文提出最終日の締切時間「16:00」とは、題目確認・ページ数の記入・目次の作成・見返し等をすべて整え製本した状態で提出する最終時間のことです。16:00の段階で、この要件を満たしていない卒業研究は受理できませんので注意してください。

### 2008年度 大谷大学教育後援会 文芸奨励賞 応募作品 大募集！

この文芸奨励賞は、在学生を対象に文芸作品を募集し、言葉による表現意欲を奨励することを目的に、大谷大学教育後援会によって創設された賞です。

今年度も次のとおり応募作品を募集いたします。

#### [ 募集要項 ]

- テーマ 「いま伝えたいこと」  
あなたは、いま何に打ち込んでいますか。何を悩んでいますか。何を考えていますか。50字以内で自由に表現して、伝えてください。  
文の形式は自由です。
- 応募作品
  - ・作品は50字以内。
  - ・オリジナル作品で未発表のもの、一人1作品に限ります（同人誌発表作品も不可）。
  - ・応募作品は返却しません。
- 応募資格 大谷大学、大谷大学短期大学部及び大谷大学大学院の在学生。
- 応募期間 2008年9月18日(木)～10月24日(金)（但し、事務休止日を除く）
- 応募方法
  - ・大学指定の論文用紙またはA4版用紙で提出してください（縦書き・横書き自由）。
  - ・応募作品には、学生番号、学部（課程）、学科（専攻）、学年、氏名を必ず記入してください。
  - ・学生支援課窓口にて備え付けの応募BOXへ直接提出してください。
- 入賞者発表 発表 2008年11月12日(水) 学生支援課掲示板にて発表
  - 最優秀賞：1名以内（文芸奨励金 50,000円）
  - 優秀賞：2名以内（文芸奨励金 30,000円）
  - 佳作：10名以内（文芸奨励金 10,000円）※入賞作品は、「大谷大学広報08—冬号」「大谷大学ホームページ」に全文掲載。
- 審査員 大谷大学教育後援会会長、大谷大学学生部長及び大谷大学教育職員から3名
- その他
  - ・審査についての問い合わせには一切応じません。
  - ・応募作品に伴う個人情報、賞の発表及び事務連絡以外には使用しません。
  - ・入賞作品の著作権は、本学に帰属します。

◆問い合わせ先 学生支援課

### 試験時の学生証の携帯について

7月23日(水)より8月1日(金)まで、前期定期試験が実施されます。

事前に『履修要項』の受験注意事項を熟読しておいてください。

なお、定期試験は学生証を携帯していないと受験できません。

万一、学生証を忘れた場合は、試験開始前に、学生支援課で仮学生証（発行当日のみ有効）の発行手続きをしてください。発行に際しては、手数料500円が必要です。

### 前期定期試験不正行為は厳禁！！

定期試験において、不正行為が発見された場合は、その試験期間の受験資格を失い、単位は与えられないなどの処罰を受けることがあります。試験には厳正な態度で臨んでください。

## 休暇中のアルバイトについて

夏期休暇を利用してアルバイトをする場合は、安全で確実なものを選ぶことが大切です。賃金の高さにつられて、危険なアルバイトに手を出さないように注意してください。

アルバイトには、業務上の事故や、労働条件をめぐるトラブル

が発生することがあります。信頼できる安全なアルバイトを選択するように心がけてください。

学生支援課では、アルバイトについての様々な相談も行っています。困った事があった場合には学生支援課に相談してください。

なお、アルバイト紹介方法につ

いては、インターネットを利用してホームページ上より「アルバイト情報ネットワーク」の求人情報を24時間365日閲覧することができます。詳しくは、本学ホームページの「大学案内」→「学生生活」→「アルバイト紹介」で確認してください。

## 海外渡航についての注意

海外へ渡航する場合には、「学生渡航届」の提出が必要です。指導教員の了承を得たうえで、必ず学生支援課へ提出してください。

近年、海外では地震・台風等の自然災害や戦争・紛争等、不測の事態に巻き込まれる危険が増大しています。渡航にあたっては、以下のホームページにて、渡航先の治安状況、衛生状態等を調査し、情報をこまめにチェックしたうえで慎重に計画を立ててください。

また、利用する旅行会社・航空会社について信頼できる会社であるか、緊急連絡体制は万全であるか等を確認し、自分自身を守るため「海外旅行傷害保険」に必ず加入してください。

海外渡航に関する情報は、GLOBAL SQUAREでも提供していますので利用してください。

〈厚生労働省検疫所ホームページ〉  
(海外渡航者のための感染症情報)

<http://www.forth.go.jp/>

〈外務省海外安全ホームページ〉

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

帰国後、体調に変化がある場合は、保健所に相談後、大学へ連絡してください。

本学連絡先

075-411-8120 (保健室)

## 麻しんに注意しましょう！

2007年4月から7月にかけて、首都圏を中心に麻しんの流行がありました。今年に入ってからも発症の報告があり、本学でも学生が麻しんに罹患しました。

麻しんは感染力が強く、免疫がないと高い確率で罹患する感染症です。学内での感染拡大を防止するためにも、まず、母子手帳などで自身が麻しんにかかったことが

あるか、予防接種を受けたことがあるかを確認してください。そのうえで、過去に麻しんにかかったことのない方、予防接種を幼少期に1回だけ受けた方(予防接種を受けていても時間の経過とともに免疫力が低下していることがあります)は抗体検査を受けて、免疫の有無を確認してください。その結果、十分な免疫のないことが判

明した場合は、早急にワクチンの接種などの感染予防措置をとってください。

また、麻しんだけでなく、風しん、水痘(みずぼうそう)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、百日咳などの感染症も同様に、罹患歴・予防接種歴を確認し、必要に応じて早めに感染予防措置をとられることをお勧めします。

## 夏期休暇中の長期貸出期間について

- 通常の貸出手続きによって借りている図書は、すべて返却した後、夏期長期貸出の手続きを取ってください。
- 手続きには利用者カード(学生証・職員証あるいは利用証)を必ず携帯してください。

### ■貸出冊数(通常貸出冊数と同じ)

|            |     |
|------------|-----|
| 科目等履修生・聴講生 | 5冊  |
| 文学部・短期大学部生 | 10冊 |
| 大学院生       |     |
| 非常勤講師・研修員  |     |
| 教職員        | 20冊 |

### ■長期貸出の手続開始

7月22日(火)～

### ■長期貸出の返却期限

9月24日(水)

## 夏期休暇中の図書館開館日時について

8月1日(金)および夏期休暇中(8月2日(土)～9月17日(水))は、短縮開館となります。

ただし、土・日・祝日、大学事

務休止日(8月9日(土)～18日(月))は休館します。

9月18日(木)より平常どおり開館します。

\*詳細、変更(臨時休館)は掲示・ホームページにてお知らせします。

## GLOBAL SQUARE

留学や語学学習、留学生との交流に興味のある方は、気軽に立ち寄ってください。みなさんの来室をお待ちしています。

各種イベントなどの詳細は、GLOBAL SQUAREのホームページや掲示板で確認してください。

URL: <http://web.otani.ac.jp/gs/>

### ■GLOBAL SQUAREのイベント

GLOBAL SQUAREでは、留学説明会や語学勉強会、留学生との交流イベントを実施しています。イベントの詳細はこちら

<http://web.otani.ac.jp/gs/modules/news/>

### ■図書・視聴覚資料

GLOBAL SQUAREでは留学情報誌や語学学習問題集や参考書を設置しています。

DVDの視聴も可能です。

資料目録はこちら

<http://web.otani.ac.jp/gs/modules/bwiki/>

### ■夏期休暇中の開室について(予定)

8月2日(土)～8月4日(月)

開室時間:10:00～17:30

※2日(土)・3日(日)はオープンキャンパスのため開室

8月5日(火)～9月17日(水)

開室日:月曜日～金曜日(祝日は閉室)

開室時間:12:30～17:30

※大学事務休止日(8月9日(土)～18日(月))および9月16日(火)は閉室

※9月13日(土)はオープンキャンパスのため開室  
開室カレンダーはこちら

<http://web.otani.ac.jp/gs/modules/piCal/>

## 2008年度 後期学生納付金の納入について

後期学生納付金の納入期限は9月30日(火)＜銀行受付日付有効・納入期日厳守＞です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に9月1日に大学より発送します。

9月8日頃になっても振込依頼書が届かない場合、紛失、破損した場合には再発行いたしますので、財務課まで申し出てください。

事情により期限内納入が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを9月30日(火)までに行ってください。学費延

納の手続きには、「学費延納許可願(所定用紙)」および学費負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

2009年度前期学生納付金の納入期限は4月20日(月)です。前期学生納付金の振込依頼書については、4月1日に大学より発送します。

## 2008年度 後期学生納付金一覧

### 文学部

(単位 円)

|        |                        | 授業料     | 施設費     | 大谷学会費 | 学生会費  | 教育後援会費 | 同窓会入会金 | 同窓会終身会費 | 合計額     |
|--------|------------------------|---------|---------|-------|-------|--------|--------|---------|---------|
| 第1～3学年 | 真宗・仏教・哲・社会・歴史・文・国際文化学科 | 397,500 | 100,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 |        |         | 516,000 |
|        | 人文情報学科                 | 397,500 | 175,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 |        |         | 591,000 |
| 第4学年   | 今年度進級学生                | 397,500 | 100,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 | 5,000  | 30,000  | 551,000 |
|        | ◇ 人文情報学科               | 397,500 | 175,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 | 5,000  | 30,000  | 626,000 |
|        | 同窓会入会金・終身会費納入済学生       | 397,500 | 100,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 |        |         | 516,000 |
|        | ◇ 人文情報学科               | 397,500 | 175,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 |        |         | 591,000 |

社会科学部臨床心理学コース第2学年の学生は授業実習費20,000円が別途必要です。

### 短期大学部

(単位 円)

|                  |                  | 授業料     | 施設費     | 大谷学会費 | 学生会費  | 教育後援会費 | 同窓会入会金 | 同窓会終身会費 | 合計額     |
|------------------|------------------|---------|---------|-------|-------|--------|--------|---------|---------|
| 第1学年             | 仏教・文化学科          | 397,500 | 100,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 |        |         | 516,000 |
|                  | 幼児教育保育科          | 397,500 | 110,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 |        |         | 526,000 |
| 第2学年<br>仏教科・文化学科 | 今年度進級学生          | 397,500 | 100,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 | 5,000  | 30,000  | 551,000 |
|                  | 同窓会入会金・終身会費納入済学生 | 397,500 | 100,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 |        |         | 516,000 |
| 第2学年<br>幼児教育保育科  | 今年度進級学生          | 397,500 | 110,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 | 5,000  | 30,000  | 561,000 |
|                  | 同窓会入会金・終身会費納入済学生 | 397,500 | 110,000 | 1,000 | 2,500 | 15,000 |        |         | 526,000 |

### 大学院

(単位 円)

|                                   |                                   | 授業料     | 施設費     | 大谷学会費 | 学生会費 | 教育後援会費 | 同窓会入会金 | 同窓会終身会費 | 合計額     |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---------|---------|-------|------|--------|--------|---------|---------|
| 修士第1学年・博士第1・第2学年<br>(2006年度以降入学生) |                                   | 240,000 | 100,000 | 1,000 |      | 15,000 |        |         | 356,000 |
| 修士第2学年・<br>博士第3学年                 | 今年度進級学生<br>(2006年度以降入学生)          | 240,000 | 100,000 | 1,000 |      | 15,000 | 5,000  | 30,000  | 391,000 |
|                                   | 同窓会入会金・終身会費納入済学生<br>(2006年度以降入学生) | 240,000 | 100,000 | 1,000 |      | 15,000 |        |         | 356,000 |
|                                   | 今年度進級学生<br>(2005年度以前入学生)          | 240,000 | 60,000  | 1,000 |      | 15,000 | 5,000  | 30,000  | 351,000 |
|                                   | 同窓会入会金・終身会費納入済学生<br>(2005年度以前入学生) | 240,000 | 60,000  | 1,000 |      | 15,000 |        |         | 316,000 |

同窓会入会金・終身会費については、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時など過去に納入されていれば不要です。

## キャリアセンター

キャリアセンターでは、自分の将来や就職について考えるための情報提供や、支援プログラムの実施、相談などを通して皆さんが納得できる進路を決定していけるようサポートしています。相談、質問があれば、学年を問わずキャリアセンターに来てください。

キャリアセンターでは、以下のガイダンス・講座などを予定しています。詳細は、キャリアセンターからのDMや掲示、「学生向け情報提供システム」などで確認してください。

### 短期大学部 編入学ガイダンス

対 象：短期大学部第1学年  
日 時：2008年7月16日(水) 17:50～  
会 場：2101教室

### 筆記試験対策講座<SPI・時事・論作文> (有料・定員有・申込制)

対 象：文学部第3学年・短期大学部第1学年・  
修士課程第1学年・博士後期課程第2学年  
日 時：2008年9月8日(月)～9月12日(金) 12:50～16:00  
会 場：1214教室

### 就職ガイダンス<就職活動の作戦を立てる>

対 象：文学部第3学年・短期大学部第1学年(仏  
教科・文化学科)・修士課程第1学年・  
博士後期課程第2学年  
日 時：2008年9月24日(水) 17:50～19:20  
会 場：講堂

### 公務員ガイダンス「採用試験対策編」

対 象：2009年4月以降の採用試験受験希望者  
日 時：2008年10月1日(水) 17:50～19:20  
会 場：1101教室

### エントリーシート対策模試<エントリーシートでの自己PR対策> (無料・申込不要)

対 象：文学部第3学年・短期大学部第1学年・  
修士課程第1学年・博士後期課程第2学年  
日 程：2008年10月3日(金)・10月4日(土)  
時間・会場：後日発表  
\*実習などで指定時間に受験できない場合に限り、  
自宅受験も可能です。

### 就職ガイダンス「業界・職種・企業研究編」<就職サイトの活用方法>

対 象：文学部第3学年・短期大学部第1学年(仏  
教科・文化学科)・修士課程第1学年・  
博士後期課程第2学年  
日 時：2008年10月15日(水) 17:50～19:20  
会 場：講堂

### ビジネスマナーガイダンス

対 象：文学部第3学年・短期大学部第1学年(仏  
教科・文化学科)・修士課程第1学年・  
博士後期課程第2学年  
日 時：2008年10月18日(土) 10:40～16:00  
会 場：講堂  
\*スーツ着用で参加してください。スーツを持っ  
ていない学生は私服でも結構です。

### 学内「企業セミナー」

対 象：2009年3月卒業・修了予定者  
日程(予定)：2008年10月22日(水)・10月23日(木)  
時間・会場：後日発表  
\*大谷大学の学生を採用しようと意欲のある企業  
が参加されます。

### 就職ガイダンス<仕事の見つけ方>

対 象：文学部第3学年・短期大学部第1学年(仏  
教科・文化学科)・修士課程第1学年・  
博士後期課程第2学年  
日 時：2008年10月22日(水)17:50～19:20  
会 場：講堂

### 業界・企業・仕事研究

対 象：文学部第3学年・短期大学部第1学年(仏  
教科・文化学科)・修士課程第1学年・  
博士後期課程第2学年  
日 程：2008年10月末～11月初旬予定  
\*いくつかの業界の方に講演していただきます。

### 公務員ガイダンス「警察官の徹底理解編」

対 象：2009年4月以降の採用試験受験希望者  
日 時：2008年11月12日(水)16:10～19:20  
大阪府警察本部採用センター 16:20～17:10 (予定)  
滋賀県警察本部採用係 17:20～18:10 (予定)  
京都府警察本部採用係 18:20～19:10 (予定)  
会 場：後日発表  
\*大阪府警、滋賀県警、京都府警の採用ご担当者  
のお話を伺うことができます。

## 教職支援センター

教職支援センターでは、後期に次の講習やガイダンスなどを予定しています。

申込期間や日程などの詳細は、掲示および「学生向け情報提供システム」などで確認してください。

### ● 教員受験特別講習（10月開講予定）

＜教職教養＞ 教員に求められる「教育観」の育成をめざし、教育法規や学習指導要領、生徒指導や特別活動などを学びます。

＜専門教養＞ 英語科・国語科・社会科を教科別に開講し、基礎的事項を整理し、問題を解きながら専門性と実践力を身につけます。

### ● 教員希望者ガイダンス（10月開催予定）

本学卒業の現役教員を講師に招き、教員採用試験に向けての取り組み方や、教育現場の現状と教員になるにあたっての心構えなどを聞くことができます。

昨年度出席した学生からは「身近な先輩の話を聞くことができ、やる気ができました」や「悩んでいた時期でしたが、この講演を聞いてやる気ができました」など前向きな感想が寄せられました。教員をめざす学生はぜひ出席してください。

### ● 教員採用試験説明会（12月開催予定）

公立学校・私立学校の募集および採用状況、採用試験に向けての取り組み方などについて説明します。教育委員会の方にも出席していただき、今年度の内容や結果についても説明をしていただく予定です。

## 教職支援講座 ②

教職アドバイザー 長谷川 浩三

### 教員になるために <その2>

前号では、教員になるための資格について述べましたが、今回は資質についてお話ししたいと思います。

#### 資 質

#### —教員として身に付けておくもの

「社会に役立つ人を育てる」のが教員の仕事です。「社会に役立つ人を育てる」役割を担う教員は、教職や教科に関する教養・知識だけでなく、基礎的な授業力・指導力が必要です。そして、教員としての使命感や教育的愛情が求められます。さらには、一般常識、コミュニケーション能力も当然重要となります。教員は、子どもの心身の発

達に関する専門的職業ですから、子ども的人格形成に大きな影響を与えますし、子どもの一生を左右する場合があります。そのため、社会から教員としての高い資質が求められるのです。

#### —教員採用試験では資質を試す

あなたの教員としての将来を審査するために、教員採用試験では、いろいろな視点や方法がとられます。普通、企業等の採用試験では知識の量や文章力で優劣が決まるものですが、教員採用試験では教員としての総合的な資質が試されます。教職科目の内容を一生懸命暗記するだけではあなたの総合力は判定できません。そのため、集団面接

や個人面接、模擬実践等が試験科目に入っているのです。実践的な判断力や指導力が深い知識、広い包容力に裏打ちされてはじめて高い資質を持っている、将来性豊かな人と認められるのです。

本学では、教員採用試験の直前に、教員受験直前講習を実施し、少人数による実践的指導を行い、個々の受講生の力量を高める取り組みを行っています。面接練習や論作文指導などを通して対応力や判断力を養う受験対策の一つですので受講されることを勧めます。詳しくは教職支援センターでたずねてください。

（次号に続く）

# 「ハラスメント防止のためのガイドライン」と「人権問題相談窓口」について

大谷大学では、2007年4月1日に従来のガイドラインを改訂し、新たに「ハラスメント防止のためのガイドライン」を策定いたしました。これは本学の構成員であるすべての学生、およびすべての職員、関係者が相互に人権を尊重し、就労や教育及び研究の場としてふさわしい良好な環境を維持することを願ってのことです。

本学構成員のすべての方は、このガイドラインの目的を十分にご理解いただき、あらゆるハラスメントの防止にお努めいただくとともに、誰もが安心して学び、気持ちよく仕事につける好ましい環境の保持にご協力いただきますようお願い申し上げます。

本学では、構内に3カ所(人権センター・学生相談室・保健室)の人権問題相談窓口を設置しています。ハラスメントだけではなく、その他人権問題全般に関する相談に応じます。秘密は厳守します。一人で悩まないで気軽にご利用ください。

(人権センター)



2007年4月1日

## ハラスメント防止のためのガイドライン

大谷大学人権委員会

### 1. 目的

このガイドラインは、大谷大学(大谷大学短期大学部及び大谷大学大学院を含む。以下「本学」という。)の構成員が相互に人権を尊重し、就労や、教育及び研究の場としてふさわしい良好な環境を維持するため、学内における多様なハラスメントの防止とその対応策について必要な事項を定めることを目的とする。

### 2. 基本方針

ハラスメントは、個人の尊厳を損ない人権を侵害する行為である。本学は、本学の建学の精神及び日本国憲法、教育基本法、男女雇用機会均等法、女性差別撤廃条約等、人権に関する法令の精神に則り、ハラスメントの防止に努めるとともに、ハラスメントが発生した場合に適正な対応と諸施策を講じる責務を負う。

すべての本学構成員は、このガイドラインの目的を理解し、ハラスメントの防止とその解決に努めなければならない。

### 3. 対象と適用範囲

このガイドラインの対象となる者は、本学の構成員のすべてである。本学の構成員とは、学生(科目等履修生・聴講生・外国人留学研究研究生・研修員・公開講座の受講生等、本学で教育を受けるすべての者を含む。)、及びすべての職員(契約職員・兼任職員・アルバイト職員等、本学で就労するあらゆる形態の者を含む。)をいう。

このガイドラインは、ハラスメントが本学構成員相互間において問題となる場合、それが発生した場所・時間帯を問わず適用される。

さらには、実質的に本学の就労や、教育及び研究上の環境に重大な支障を与えると認められるハラスメントについては、被害者または加害者が本学の職員、学生等であれば、キャンパスの内外を問わず、本ガイドラインが広く適用ないし準用される。

なお、職員については離職後、学生等については卒業・退学等で本学の学籍を失った後においても、在職中又は在学中に受けたハラスメントに関する相談・申し立てを行うことができる。また、加害者とされる者が既に離職又は学籍を喪失している場合でも、その者が在職中又は在学中に行ったことであれば相談・申し立てを行うことができる。

ただし、キャンパス内の出入り業者、他大学学生等本学の構成員でない者については、本ガイドラインの趣旨、目的、概念を説明し、その者が所属する機関に対して、予防、再発防止、行為者の処分等を行うよう求めるものとする。

### 4. ハラスメントとは

ハラスメントとは、性別、社会的身分、人種、国籍、信条、年齢、職業、身体的特徴等の属性あるいは広く人格にかかわる事項等に関する言動によって、相手に不利益や不快感を与え、あるいはその尊厳を損なうことをいう。

大学におけるハラスメントとしては、優越的地位や指導上の地位、職務上の地位、継続的關係を利用して、相手の意に反して行われ、就労や、教育及び研究上の環境を悪化させる行為が挙げられる。意識的であるか無意識的であるかは問わず、また肉体的暴力だけでなく精神的暴力も含まれる。

これらのハラスメントには、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント等がある。

なお、これらの定義は厳格に解されるべきものではなく、さまざまな状況により柔軟に適用される。

#### (1) セクシュアル・ハラスメント

セクシュアル・ハラスメントとは、就労や、教育及び研究上の人間関係において、相手の意に反する性的な言動によって、就労や、教育及び研究上の不利益や利益を与え、またそれらの環境を悪化させることをいう。

性的な言動とは、性的な関心や欲求に基づく言動をいい、性的な文書や図画の掲示、性別により固定的な役割を分担すべきであるとする意識に基づく言動も含む。



不利益や利益とは、性的な欲求への服従又は拒否を理由に、進学、進級、成績評価及び教育・研究上の指導等を受ける際の取り扱いにおける不利益や利益、また、昇任、配置換え等の任用上の取り扱いや、昇格、昇給、諸手当等の給与上の取り扱いに関する不利益や利益、また、誹謗中傷を受けること、その他事実上の不利益や利益をいう。

環境の悪化とは、セクシュアル・ハラスメントによって、就労や、教育及び研究に専念し難い程度に環境が不快なものになることをいう。

また、セクシュアル・ハラスメントであるかどうかの判断は、行為者の意図にかかわらず、その行為が相手の意に反したものであるかどうかによる。

また、セクシュアル・ハラスメントは、異性に対してのみならず、同性間においても起こり得る。

## (2) アカデミック・ハラスメント

アカデミック・ハラスメントとは、教員等の権威的または優越的地位にある者が、意識的、無意識的に、その優位な立場や権限を利用または逸脱して、その指導等を受ける者の研究意欲及び研究環境を阻害する結果となる、教育上不適切な言動、指導または待遇を行うことを指す。

例えば、教員間であれば、より優位にある者による研究妨害や昇任差別、退職勧奨等、教員と学生の間であれば、指導教員からの退学・留年勧奨、指導拒否、指導上の差別行為、学位取得の妨害、就職上の指導差別、公平性を欠く成績評価等である。より具体的には、昇任審査、学位審査及び研究指導において、特定の者に対し、必要以上に厳しい条件を課すこと、指導を超えて人格を否定するような言動を繰り返すことなどである。

ただし、教育上の指導においては、指導のあり方は多様であり、また指導を受ける側の個々人の感じ方等の差異もあり、アカデミック・ハラスメントであるか否かの判断については十分注意しなければならない。

## (3) パワー・ハラスメント

パワー・ハラスメントとは、就学上、就労上の優越的地位を利用して、自分よりも下位のものに対し、その影響力を濫用する言動のことである。また、指導の範疇を超える言動により、人格と尊厳を侵害し不安を与え、それにより、就労や、教育及び研究上の環境を悪化させることである。これらは、必ずしも、先輩から後輩、上司から部下への加害行為に限られるわけではない。

上述した3種のハラスメントは境界線が不分明であるが、明確な人権侵害であるということをしかりと受け止めなければならない。

## 5. ハラスメント防止についての本学の役割

(1) ハラスメント防止のために学習会等の啓発活動を行う。

(2) 人権教育・研究・啓発を推進するために、また教育、研究の場にふさわしい環境づくりを推進するために、人権センターを置く。

(3) 被害を受けた学生および職員等が、安心してハラスメントの被害の相談・申し立て等ができるよう、人権センター、学生相談室、及び保健室に、人権問題相談窓口を設置し、相談員を置く。相談窓口では、ハラスメントに関する相談をはじめ、その他人権問題全般に関する相談に応じる。いずれの場合においても秘密が厳守されるよう、十分に注意する。

(4) 本学は、ハラスメントをはじめ、その他の人権侵害等に関する問題が生じた場合には、相談者の意思を尊重した上で、人権問題調査委員会を設置し、処分を含む早急且つ適切な対応を行う。加害者が学外者である場合にあっては、必要かつ適切な措置をとるよう努力する。

その際、関係者（当事者の他、監督・指導の責任を負う者等、利害関係を有する者を含む）のプライバシーの尊重と秘密厳守には特に留意する。

## 6. ハラスメントに関する注意

(1) ハラスメントをおこさないために

① 本学構成員は、ハラスメントのない、就労や、教育及び研究上の好ましい環境を維持するために、日頃から注意することが必要である。

また、学外や職務時間外におけるハラスメントにも注意しなければならない。さらに、本学構成員間のみではなく、関係を有する学外者との関係におけるハラスメントにも注意を要する。

② 教育職員と学生との関係において、教育職員は成績評価、単位認定等にかかわる権限を有している。したがって、そのことがハラスメントの基盤や背景となりうることを、十分に認識していなくてはならない。

③ ハラスメントを起こさないためには、お互いの人格を尊重することが最も重要である。

就労や、教育及び研究における人間関係において、相手を性的な関心の対象として見る意識をなくすること、また優位な立場にあることからくる慢心や相手に対する軽視を捨てることが大切である。また、異性を劣った性として見る意識をなくすることも重要である。

④ ハラスメントであるかどうかは、言動を為した者よりもそれを受ける側の感じ方や判断がより尊重される。このことは、ことにセクシュアル・ハラスメントにおいて顕著にあらわれる。したがって、親しさを表すつもりと言動が相手を不快に



させる場合があること、したがって、これくらいなら許容されるであろうと勝手に憶測しないことが大切である。

また、何らかの誘いに対して拒否の意思表示がないからといって、それを同意や合意であると勘違いしてはならない。

## (2) ハラスメントを受けたと感じたら

- ① ハラスメントを自分一人で解決することは、きわめて困難である場合が多い。そのため、一人で悩まず、人権問題相談窓口相談することが望ましい。
- ② ハラスメントを受けたと感じた場合は、相手に対して明確に拒否の意思表示をすることが望まれる。明確な意思表示ができない場合は、その日時、場所、状況等について記録(メモ)を取り、信頼できる人があれば話しておくことが大切である。また、自らがどのように対応したかも記録(メモ)しておく。相談・申し立てに当たっては、ハラスメントに関する証拠のようなものは必ずしも必要とはされないが、記録しておくことは、相談・申し立て後の調査を円滑に進め易くするためには有用である。
- ③ 相談・申し立てについては、人権センター、学生相談室、保健室等、いずれの相談窓口でも受け付ける。最も相談しやすいところに相談に行くようにする。また、一人で相談に行き難いときには、親しい友人等の付添人(学外者を含む。)の同伴も認められる。相談窓口での相談・申し立ては、被害を受けたとされる者の立場を尊重して行われる。
- ④ 相談・申し立てについては、被害者とされる者だけでなく、被害者とされる者の代理人、被害を目撃した第三者からも受け付ける。ハラスメントの場面を見聞した場合や、被害者から相談を受けた場合は、できるだけ被害者の力になり、相談窓口に行くように勧めることが望まれる。
- ⑤ 相談・申し立てについては、面談だけでなく、手紙・電話・ファックス・電子メールでも受け付ける。これらのうち、もっとも利用しやすい方法を用いればよい。相談窓口への連絡方法は、学生手帳、パンフレット等に記載されている。

## 7. その他の注意事項

- ① 相談や救済のための申し立てを行った者や事実調査に協力した者、その他手続きにかかわった者が報復をされたり、なんらかの不利益を被ったりすることがあってはならない。  
ハラスメントの相談・申し立てをしたことに対して、申し立てられた側が報復することを厳しく禁じる。もし、報復行為がなされた場合には、大学として、ただちに必要な措置をとる。また、申し立てられた者以外の者が、申し立てをした者に、何らかの差別的・不利益的な取り扱いや、いやがらせなどをしたときも同様に対処する。
- ② 虚偽であることを知りながら、嘘の相談や申し立てをしてはならない。また、虚偽の証言や十分な根拠がないのに、無理に真実である旨の証言をしてはならない。ただし、実際に経験したことについて、証拠を示して証明することが出来ないからといって「根拠がない」と取り扱われるわけではない。

## 【参考】 ハラスメントの事例

### 1. セクシュアル・ハラスメントになり得る言動の例

#### (1) 教室・研究室・職場の内外で起きやすいもの

##### A. 性的な内容の発言等

###### a. 性的な関心、欲求に基づくもの

- ・スリーサイズを聞く等、身体的特徴を話題にする
- ・卑猥な冗談を交わす
- ・体調が悪そうな女性に「今日は生理日か」、「もう更年期か」等と言う
- ・「彼とはどんな関係か」等と、性的経験や性生活について質問する
- ・「結婚しているのか」、「離婚したのか」等としつこく聞く
- ・性的なうわさを流したり、性的なからかいの対象とする
- ・授業内容と関係のない性的な話題を授業中に持ち出す

###### b. 性別により差別しようとする意識に基づくもの

- ・「男のくせに根性がない」、「女には仕事を任せられない」、「女性は職場の花でありさえすればよい」、「女は学問などしなくてもよい」等と発言する
- ・成人に対して、「男の子」、「女の子」、「僕、坊や、お嬢さん」、「おじさん、おばさん」等と人格を認めないような呼び方をする

##### B. 性的な行動等

###### a. 性的な関心、欲求に基づくもの

- ・ヌードポスター等を研究室や職場に貼る
- ・雑誌等の卑猥な写真・記事等をわざと見せたり、読んだりする
- ・職場のパソコンのディスプレイに卑猥な画像を表示する
- ・身体を執拗に眺め回す
- ・食事やデートにしつこく誘う



- ・性的な内容の電話をかけたり、性的な内容の手紙、Eメールを送りつける
  - ・身体に不必要に接触する
  - ・不必要な個人指導を行う
  - ・浴室やトイレ、更衣室等をのぞき見する
  - b. 性別により差別しようとする意識等に基づくもの
    - ・女性であるというだけでお茶くみ、掃除、私用等を強要する
    - ・女性であるというだけの理由で、仕事や研究上の実績等を不当に高く又は低く評価する
    - ・男性であるというだけの理由で、仕事や研究上の実績等を不当に高く又は低く評価する
- (2) 主に教室・研究室・職場の外において起きやすいもの
- a. 性的な関心、欲求に基づくもの
    - ・性的な関係を強要する
    - ・ゼミやクラス、クラブ、サークル、職場等の旅行の宴会の際に浴衣に着替えることを強要する
    - ・出張への同行を強要したり、出張先で不必要に自室に呼ぶ
    - ・自宅までの送迎を強要する
    - ・住居等まで付け回す
  - b. 性別により差別しようとする意識等に基づくもの
    - ・カラオケでのデュエットを強要する
    - ・酒席で、指導教員、上司等のそばに座席を指定したり、お酌やチークダンス等を強要する

## 2. アカデミック・ハラスメントになり得る言動の例

### (1) 教育指導を妨害するもの

- ・卒業研究を開始して間もないのに、早々に留年を言いわたす
- ・正当な理由を示さずに、単位を与えない
- ・卒業・修了の判定基準を恣意的に変更して留年させる
- ・正当な理由なく、本人の希望に反する学習・研究活動や研究テーマを押しつける
- ・就職活動を禁止する
- ・正当な理由なく、就職や他大学進学に必要な推薦書を書かない
- ・正当な理由なく、他の研究教育組織への異動を強要する
- ・「放任主義だ」と言って、研究指導やアドバイスをしない
- ・論文原稿を渡されてから、正当な理由なく、何週間経っても添削指導をしない
- ・嫌いなタイプ、意見の合わない学生に対して、指導を拒否したり差別待遇をしたりする
- ・教育・研究において、「幼稚なお前には指導の必要がある」等と言い、精神的虐待を行う

### (2) 研究活動を妨害するもの

- ・正当な理由なく、文献・図書や機械類を使わせない
- ・正当な理由なく、実験機器や試薬等を勝手に廃棄する
- ・研究に必要な物品購入を、必要な書類に捺印しないという手段で妨害する
- ・正当な理由なく、机を与えない又は机を廊下に出したり、条件の悪い部屋や他の研究室員とは別の部屋に隔離したりする
- ・正当な理由なく、研究室への立ち入りを禁止する
- ・研究費の申請を妨害する
- ・正当な理由なく、学会へのお出張を許可しない
- ・正当な理由なく、研究出張を認めない等の手段で、共同研究を行わせない

## 3. パワー・ハラスメントになり得る言動の例

- ・職場・グループ内で孤立させる
- ・不当に本来の指導をこえる作業・業務をさせたり休日に出てくることを強要したりすることで、相手の健康を危険にさらす
- ・人格を否定したり傷つけたりするようなことばの暴力や実際に暴力をふるう
- ・相手の信用を傷つける
- ・立場を利用して知識・技術・アイデアを搾取する
- ・不当に職務に無関係な資料整理、コピー、お茶くみ、掃除等雑務をさせる
- ・携帯電話のメールを勝手に見る

# 2008年度 課外活動春季大会結果

## 【団体成績】

| クラブ名  | 日程        | 対戦校            | 結果            | 会場                |
|---|-----------|----------------|---------------|-------------------|
| 卓球部 (男子)<br>関西学生卓球連盟春季リーグ戦<br>Ⅲ部Aブロック 6位<br>Ⅳ部降格  | 5月17日 (土) | 京都大学           | ● 1 - 3       | 近畿大学記念会館          |
|   | 5月18日 (日) | 大阪産業大学         | ● 2 - 3       | 〃                 |
|   | 5月22日 (木) | 神戸学院大学         | ● 1 - 3       | 尼崎市記念公園総合体育館      |
|   | 5月23日 (金) | 大阪工業大学         | ● 1 - 3       | 〃                 |
|   | 5月31日 (土) | 大阪教育大学         | ● 1 - 3       | 松下電器体育館           |
|   | 6月1日 (日)  | 滋賀大学           | ○ 3 - 2       | 〃                 |
|   | 6月8日 (日)  | 摂南大学           | ● 1 - 3       | 大阪経済法科大学          |
|   | 5月17日 (土) | 滋賀大学           | ● 0 - 3       | 近畿大学記念会館          |
|   | 5月18日 (日) | 京都女子大学         | ○ 3 - 1       | 〃                 |
|   | 5月22日 (木) | 大阪大学           | ● 1 - 3       | 尼崎市記念公園総合体育館      |
| 卓球部 (女子)<br>関西学生卓球連盟春季リーグ戦<br>Ⅲ部Bブロック 2位  | 5月23日 (金) | 和歌山大学          | ○ 3 - 1       | 〃                 |
|   | 5月31日 (土) | 甲南大学           | ○ 3 - 0       | 松下電器体育館           |
|   | 5月3日 (土)  | 京都教育大学         | ○ 4 - 1       | 〃                 |
|   | 5月3日 (土)  | 滋賀大学           | ● 2 - 3       | 京都産業大学            |
|   | 5月3日 (土)  | 京都学園大学         | ○ 3 - 1       | 〃                 |
|   | 5月25日 (日) | 大阪芸術大学         | ○ 3 - 1 (1分け) | 尼崎市記念公園総合体育館      |
|   | 5月25日 (日) | 大阪大学           | ○ 3 - 2       | 〃                 |
|   | 5月25日 (日) | 関西外国語大学        | ● 0 - 5       | 〃                 |
|   | 4月5日 (土)  | びわこ成蹊スポーツ大学    | ○ 5 - 2       | 太陽ヶ丘球場            |
|   | 4月6日 (日)  | 〃              | ○ 14 - 2      | 〃                 |
| 柔道部 (男子)<br>京都学生柔道大会<br>Ⅱ部 1位<br>関西学生柔道優勝大会<br>Ⅱ部 3位  | 4月12日 (土) | 花園大学           | ○ 7 - 5       | 福知山球場             |
|   | 4月13日 (日) | 〃              | ● 0 - 4       | 〃                 |
|   | 4月14日 (月) | 〃              | ● 3 - 4       | 〃                 |
|   | 4月26日 (土) | 佛教大学           | ● 0 - 6       | 太陽ヶ丘球場            |
|   | 4月27日 (日) | 〃              | ● 0 - 4       | 〃                 |
|   | 5月3日 (土)  | 京都学園大学         | ○ 5 - 1       | 京都学園大グラウンド        |
|   | 5月4日 (日)  | 〃              | ● 6 - 13      | 〃                 |
|   | 5月5日 (月)  | 〃              | ● 1 - 8       | 〃                 |
|   | 5月14日 (水) | 京都創成大学         | ○ 5 - 3       | 太陽ヶ丘球場            |
|   | 5月16日 (金) | 〃              | ○ 14 - 3      | 西京極球場             |
| 硬式野球部<br>京滋大学野球連盟春季リーグ戦<br>Ⅰ部リーグ 3位   | 4月6日 (日)  | 兵庫県立大学 姫路      | ○ 6 - 1       | 大谷大学湖西キャンパスグラウンド  |
|   | 4月12日 (土) | 大阪大谷大学         | ● 1 - 2       | 滋賀大学教育学部石山グラウンド   |
|   | 4月26日 (土) | 奈良大学           | ○ 6 - 0       | 大谷大学湖西キャンパスグラウンド  |
|   | 5月3日 (土)  | 近畿医療福祉大学       | ○ 2 - 0       | 〃                 |
|   | 5月6日 (火)  | 京都工芸繊維大学       | ○ 4 - 2       | 〃                 |
|   | 5月11日 (日) | 神戸市外国語大学       | ● 2 - 3       | 京都府立大学            |
|   | 5月18日 (日) | 花園大学           | ○ 5 - 2       | 神戸市外国語大学          |
|   | 5月25日 (日) | 兵庫県立大学 神戸      | ○ 2 - 0       | 大谷大学湖西キャンパスグラウンド  |
|   | 6月1日 (日)  | 和歌山大学          | ● 0 - 5       | 〃                 |
|   | 6月15日 (日) | 佛教大学           | ● 1 - 5       | 大阪工業大学            |
| サッカー部<br>関西学生サッカー選手権大会<br>Ⅲ部トーナメント 2回戦敗退<br>関西学生サッカーリーグ戦<br>Ⅲ部リーグBブロック  | 6月22日 (日) | 京都橋大学          | ○ 11 - 0      | 大谷大学湖西キャンパスグラウンド  |
|   | 6月29日 (日) | 大阪工業大学         | ○ 4 - 0       | 〃                 |
|   | 5月24日 (土) | 愛知学院大学         | ● 1 - 6       | 福岡市民体育館           |
|   | 4月19日 (土) | 京都工芸繊維大学       | ● 54 - 65     | 龍谷大学体育館           |
|   | 5月5日 (月)  | 京都教育大学         | ● 71 - 104    | 京都精華大学体育館         |
|   | 5月6日 (火)  | 京都文教大学         | ● 78 - 97     | 〃                 |
|   | 5月26日 (月) | 金沢大学           | ● 39 - 131    | 大阪府立体育会館          |
|   | 4月13日 (日) | 和歌山大学          | ● 49 - 69     | 大谷大学体育館           |
|   | 5月5日 (月)  | 京都府立医科大学       | ● 75 - 89     | 京都精華大学体育館         |
|   | 5月6日 (火)  | 京都産業大学         | ● 61 - 98     | 〃                 |
| バスケットボール部 (男子)<br>全関西バスケットボール選手権大会<br>1回戦敗退<br>京都学生バスケットボール選手権大会<br>Bブロック予選リーグ敗退<br>西日本学生バスケットボール選手権大会<br>1回戦敗退   | 5月25日 (日) | 中部学院大学         | ● 23 - 157    | 大阪市中央体育館          |
|   | 4月27日 (日) | 兵庫県立大学西学舎      | ● 2 - 3       | 四天王寺大学            |
|   | 4月27日 (日) | 帝塚山大学          | ● 0 - 5       | 〃                 |
|   | 4月27日 (日) | 四天王寺大学         | ● 1 - 4       | 〃                 |
|   | 4月27日 (日) | 京都外国語大学        | ○ 不戦勝         | 大谷大学湖西キャンパスグラウンド  |
|   | 4月27日 (日) | 奈良大学           | ● 1 - 2       | 〃                 |
|   | 4月27日 (日) | びわこ成蹊スポーツ大学    | ● 0 - 3       | 〃                 |
|   | 4月27日 (日) | 奈良教育大学         | ● 0 - 3       | 兵庫県立大学神戸学園都市校舎体育館 |
|   | 4月29日 (火) | 大阪市立大学         | ● 2 - 3       | 大阪市立大学体育館         |
|   | 5月5日 (月)  | 流通科学大学         | ○ 3 - 2       | 奈良大学体育館           |
| バスケットボール部 (女子)<br>全関西女子バスケットボール選手権大会<br>1回戦敗退<br>京都学生バスケットボール選手権大会<br>Bブロック予選リーグ敗退<br>西日本学生バスケットボール選手権大会<br>1回戦敗退 | 5月6日 (火)  | 和歌山大学          | ○ 3 - 1       | 奈良大学体育館           |
|   | 5月11日 (日) | 四天王寺大学         | ● 0 - 3       | 大谷大学体育館           |
|   | 5月18日 (日) | 兵庫県立大学神戸学園都市校舎 | ● 2 - 3       | 奈良大学体育館           |
|   | 5月25日 (日) | 花園大学           | ● 1 - 3       | 姫路獨協大学体育館         |
|   | 4月27日 (日) | 和歌山信愛短期大学      | ○ 3 - 0       | 相愛大学体育館           |
|   | 4月29日 (火) | 帝塚山大学          | ○ 3 - 0       | 〃                 |
|   | 5月5日 (月)  | 摂南大学           | ○ 3 - 0       | 兵庫県立大学神戸学園都市校舎体育館 |
|   | 5月6日 (火)  | 甲南女子大学         | ○ 3 - 1       | 〃                 |
|   | 5月11日 (日) | 滋賀県立大学         | ○ 3 - 0       | 姫路獨協大学体育館         |
|   | 5月18日 (日) | 兵庫県立大学神戸学園都市校舎 | ○ 3 - 0       | 〃                 |
| バレーボール部 (男子)<br>関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦<br>Ⅵ部 6位   | 5月25日 (日) | 京都府立大学         | ○ 3 - 0       | 兵庫県立大学神戸学園都市校舎体育館 |
|   | 4月6日 (日)  | 京都文教大学         | ○ 5 - 0       | 京都産業大学体育館         |
|   | 4月6日 (日)  | 滋賀県立大学         | ○ 5 - 0       | 〃                 |
|   | 4月13日 (日) | 京都橋大学          | ○ 5 - 0       | 京都大学体育館           |
|   | 4月13日 (日) | 京都薬科大学         | ○ 5 - 0       | 〃                 |
|   | 4月20日 (日) | 京都府立大学         | ○ 3 - 2       | 京都産業大学体育館         |
|   | 4月27日 (日) | 京都外国語大学        | ○ 3 - 1       | 京都大学体育館           |
|   | 4月29日 (火) | 京都学園大学         | ● 1 - 3       | 同志社大学体育館          |
|   | 5月10日 (土) | 桃山学院大学         | ● 2 - 3       | 大谷大学体育館           |
|   | 5月17日 (土) | 関西外国語大学国際言語学部  | ○ 5 - 0       | 〃                 |
| バレーボール部 (女子)<br>関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦<br>Ⅶ部 1位<br>Ⅵ部昇格   | 5月18日 (日) | 大阪大学外国語学部      | ○ 5 - 0       | 〃                 |
|   | 5月18日 (日) | 大阪国際大学         | ○ 5 - 0       | 〃                 |
|   | 4月6日 (日)  | 龍谷大学           | ● 0 - 5       | 京都産業大学体育館         |
|   | 4月13日 (日) | 京都産業大学         | ● 1 - 4       | 京都大学体育館           |
|   | 4月20日 (日) | 立命館大学          | ● 0 - 5       | 京都産業大学体育館         |
|   | 4月27日 (日) | 佛教大学           | ● 2 - 3       | 京都大学体育館           |
|   | 4月29日 (火) | 同志社大学          | ● 2 - 3       | 同志社大学体育館          |
|   | 4月29日 (火) | 滋賀短期大学         | ● 2 - 3       | 〃                 |
|   | 5月3日 (土)  | 大阪体育大学         | ● 0 - 5       | 大谷大学体育館           |
|   | 5月4日 (日)  | 大阪教育大学         | ● 0 - 5       | 大阪教育大学体育館         |
| バドミントン部 (男子)<br>京都学生バドミントンリーグ戦大会<br>Ⅲ部 1位<br>関西学生バドミントン春季リーグ戦<br>Ⅵ部Aブロック 2位                                       | 5月10日 (土) | 大阪国際大学         | ● 1 - 4       | 大谷大学体育館           |
|   | 5月17日 (土) | 滋賀大学教育学部       | ● 2 - 3       | 〃                 |
|   | 5月18日 (日) | 同志社大学          | ● 2 - 3       | 〃                 |
|   | 4月6日 (日)  | 龍谷大学           | ● 0 - 5       | 京都産業大学体育館         |
|   | 4月13日 (日) | 京都産業大学         | ● 1 - 4       | 京都大学体育館           |
|   | 4月20日 (日) | 立命館大学          | ● 0 - 5       | 京都産業大学体育館         |
|   | 4月27日 (日) | 佛教大学           | ● 2 - 3       | 京都大学体育館           |
|   | 4月29日 (火) | 同志社大学          | ● 2 - 3       | 同志社大学体育館          |
|   | 4月29日 (火) | 滋賀短期大学         | ● 2 - 3       | 〃                 |
|   | 5月3日 (土)  | 大阪体育大学         | ● 0 - 5       | 大谷大学体育館           |
| バドミントン部 (女子)<br>京都学生バドミントンリーグ戦大会<br>Ⅰ部 6位<br>関西学生バドミントン春季リーグ戦<br>Ⅲ部 6位  | 5月4日 (日)  | 大阪教育大学         | ● 0 - 5       | 大阪教育大学体育館         |
|   | 5月10日 (土) | 大阪国際大学         | ● 1 - 4       | 大谷大学体育館           |
|   | 5月17日 (土) | 滋賀大学教育学部       | ● 2 - 3       | 〃                 |
|   | 5月18日 (日) | 同志社大学          | ● 2 - 3       | 〃                 |

## 【個人成績】

- 卓球部
  - ＜関西学生卓球新人大会＞
  - 於 松下電器体育館 (5月3日・4日)
  - シングルス (男子)
  - ・第3位
  - 近藤 琢 爾 (文学部哲学科 第4学年)
- 硬式野球部
  - ＜京滋大学野球連盟春季リーグ戦＞
  - 於 西京極球場 他 (3月27日～5月26日)
  - 打撃ベストテン
  - ・第3位 打率.400
  - 藤川 圭 市 (文学部仏教学科 第3学年)
- 跆拳道部
  - ＜大阪府テコンドー協会 W.A.T.A OPENテコンドー選手権大会＞
  - 於 堺市立大浜体育館 (5月4日)
  - 女子一般 初級フェザー級
  - ・第3位
  - 清水 麻 友 (文学部哲学科 第3学年)
  - 男子一般 初級ウェルター級
  - ・第3位
  - 吉田 広 輝 (文学部社会学科 第3学年)
  - 男子一般 初級フェザー級
  - ・優勝
  - 永 峯 隼 人 (文学部社会学科 第2学年)

## ● 課外活動 イベント情報 ●

今回の大学広報夏号より、本学の課外活動団体におけるイベント情報を紹介していきます。企画のスタートにあたり、現在、日本フットボールリーグ (JFL) 所属の「MIOびわこ草津」で、滋賀県からJリーグ昇格をめざして活躍中である本学2006年度社会学科卒業生の幸山聡太さんからメッセージをいただきました。

私は、大谷大学サッカー部に在籍中のシーズンを通して、「仲間」という人生でかけがえのない存在を得ました。『大学生』という環境は、人生でも限られた時間の中での一度しかない大切な時間です。大学で時を同じく過ごす友人が一生懸命になって

いる姿に共感し、お互いに成長できるようになればと思います。みなさん、大学やクラブは自分を成長させる大事な環境です。お互いの交流を通して自分が成長できるように、またそれが広がって大学生活が活気ある有意義なものとなり、何十年後には

思い出話の一つにもなるように一緒に頑張ってください。

+++++

**JFL/MIOびわこ草津**

①幸山 聡太 (こやま そうた)

公式ホームページ

<http://fcmio-hp.hp1.allin1.jp/>

+++++



### 課外活動の 活動予定



| 団体名     | イベント名                                   | 日程   | 開催時間                       |
|---------|---|--|----------------------------|
|         | 会場                                      | 備考   |                            |
| サッカー部   | 第86回関西学生サッカーリーグ後期                       | 9月7日(日)~11月9日(日)   | 11:00~17:00                |
|         | 大谷大学湖西キャンパスグラウンド                        | 大谷大学体育会サッカー部ホームページ<br>>> <a href="http://otanisoccer.web.fc2.com/">http://otanisoccer.web.fc2.com/</a>             |                            |
| ソフトテニス部 | 京都学生ソフトテニス優勝大会                          | 10月11日(土)・12日(日)   | 9:00~                      |
|         | 未定                                      | 京都学生ソフトテニス連盟ホームページ<br>>> <a href="http://www.geocities.jp/kyotogakuren/">http://www.geocities.jp/kyotogakuren/</a> |                            |
| ソフトテニス部 | 京都学生ソフトテニス新進大会                          | 11月8日(土)・9日(日)   | 9:00~                      |
|         | 未定                                      | 京都学生ソフトテニス連盟ホームページ<br>>> <a href="http://www.geocities.jp/kyotogakuren/">http://www.geocities.jp/kyotogakuren/</a> |                            |
| 尺八部・箏曲部 | 大谷大学尺八部・箏曲部<br>邦楽定期演奏会                  | 11月3日(月・祝)   | 開場 18:00<br>開演 18:30~20:30 |
|         | 京都市アバンティホール<br>京都市南区東九条西山王町31番地 アバンティ9階 |  |                            |
| 写真部     | 大谷大学冬舞展                                 | 12月4日(木)~12月9日(火)  | 11:00~18:00                |
|         | ギャラリー三条柳馬場<br>京都市中京区三条通柳馬場東入るアサヒビル1F    |  |                            |
| 美術部     | 大谷大学美術部 夏の学外展                           | 8月12日(火)~8月17日(日)  | 11:00~18:00<br>最終日のみ17時まで  |
|         | ギャリエヤマシタ2階<br>京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町537     |  |                            |
| 混声合唱団   | 大谷大学混声合唱団<br>創立40周年記念定期演奏会              | 12月20日(土)  | 未定                         |
|         | 京都コンサートホール(大ホール)<br>京都市左京区下鴨半木町1-26     | 入場有料(未定)   |                            |

## 2008年度 同窓会支部総会および巡回講演会 一覧

毎年、7月から9月に全国の同窓会各支部において、支部総会ならびに巡回講演会が開催されます。講演会では、本学教員や名誉教授が講師として派遣され、あわせて大学の現況などが報告されます。

また、巡回講演会は同窓生だけでなく、一般市民にも公開されている支部もあり、特に今年度は、札幌・岩見沢・夕張支部、湖南支部、熊本支部において、同窓会を母体として設立されたNPO法人「尋源舎」との共催により「仏教公開セミナー」として開催されます。

| 支部名         | 開催日程     | 講師            |
|-------------|----------|---------------|
| 函 館         | 7月7日(月)  | 佐賀枝夏文 教授      |
| 小 樽         | 7月25日(金) | 水島 見一 教授      |
| ※ 札幌・岩見沢・夕張 | 7月5日(土)  | 佐賀枝夏文 教授      |
| 砂 川         | 7月4日(金)  | 佐賀枝夏文 教授      |
| 北 の 国       | 7月9日(水)  | 藤島建樹名誉教授・同窓会長 |
| 室 蘭         | 7月26日(土) | 水島 見一 教授      |
| 深 川         | 7月25日(金) | 織田 顕祐 教授      |
| 旭 川         | 7月24日(木) | 織田 顕祐 教授      |
| 十 勝         | 7月27日(日) | 水島 見一 教授      |
| 網 走         | 7月27日(日) | 藤島建樹名誉教授・同窓会長 |
| 紋 別         | 7月28日(月) | 藤島建樹名誉教授・同窓会長 |
| 名 寄         | 7月23日(水) | 織田 顕祐 教授      |
| 釧 根         | 7月25日(金) | 藤島建樹名誉教授・同窓会長 |
| 青 森         | 8月24日(日) | 木村 宣彰 学長      |
| 岩 手         | 8月21日(木) | 木村 宣彰 学長      |
| 宮 城         | 9月5日(金)  | 沙加戸 弘 教授      |
| 秋 田         | 8月22日(金) | 木村 宣彰 学長      |
| 山 形         | 9月4日(木)  | 乾 源俊 教授       |
| 福 島 県       | 9月6日(土)  | 沙加戸 弘 教授      |
| 茨 城         | 9月6日(土)  | 乾 源俊 教授       |
| 栃 木         | 9月5日(金)  | 乾 源俊 教授       |
| 群 馬         | 9月5日(金)  | 加来 雄之 准教授     |
| 埼 玉         | 9月6日(土)  | 加来 雄之 准教授     |
| 千 葉         | 9月7日(日)  | 加来 雄之 准教授     |
| 東 京         | 8月29日(金) | 宮崎 健司 教授      |
| 神 奈 川       | 8月30日(土) | 宮崎 健司 教授      |
| 山 梨         | 8月31日(日) | 宮崎 健司 教授      |
| 信濃学友会       | 9月9日(火)  | 織田 顕祐 教授      |
| 三 条         | 9月8日(月)  | 木越 康 准教授      |
| 上 越         | 9月7日(日)  | 木越 康 准教授      |
| 静 岡         | 9月9日(火)  | 石橋義秀教授・同窓会理事長 |
| 三 為 会       | 9月5日(金)  | 大内 文雄 教授      |
| 尾張学友会       | 9月2日(火)  | 門脇 健 教授       |
| 三 重         | 9月1日(月)  | 門脇 健 教授       |
| 大 垣         | 8月31日(日) | 門脇 健 教授       |

| 支部名     | 開催日程     | 講師            |
|---------|----------|---------------|
| 岐 阜     | 9月6日(土)  | 三木 彰円 講師      |
| 郡 上     | 8月18日(月) | 藤元 雅文 講師      |
| 飛 騨     | 8月19日(火) | 藤元 雅文 講師      |
| 富 山     | 8月21日(木) | 山野 俊郎 教授      |
| 高 岡     | 8月20日(水) | 山野 俊郎 教授      |
| 金 沢     | 8月7日(木)  | 大内 文雄 教授      |
| 能 登     | 8月6日(水)  | 大内 文雄 教授      |
| 小 松     | 8月8日(金)  | 大内 文雄 教授      |
| 大 聖 寺   | 8月19日(火) | 山野 俊郎 教授      |
| 福 井     | 9月12日(金) | 一楽 真 准教授      |
| 長 浜     | 8月3日(日)  | 一色 順心 教授      |
| 湖 東     | 9月6日(土)  | 山田 恵文 講師      |
| ※ 湖 南   | 8月30日(土) | 木村 宣彰 学長      |
| 丹 但     | 8月1日(金)  | 水島 見一 教授      |
| 大阪4支部合同 | 9月12日(金) | 石橋義秀教授・同窓会理事長 |
| 神戸・阪神   | 8月30日(土) | 大秦 一浩 講師      |
| 和 歌 山   | 8月25日(月) | 支部総会のみ        |
| 奈 良     | 8月24日(日) | 古川 哲史 准教授     |
| 播 磨     | 9月5日(金)  | 水島 見一 教授      |
| 鳥 根     | 8月31日(日) | 小谷信千代 教授      |
| 岡 山     | 8月30日(土) | 小谷信千代 教授      |
| 福 山     | 9月6日(土)  | 水島 見一 教授      |
| 広 島     | 9月4日(木)  | 水島 見一 教授      |
| 山 口     | 9月6日(土)  | 草野 顕之 教授      |
| 四 国     | 9月1日(月)  | 小谷信千代 教授      |
| 福 岡     | 9月8日(月)  | 草野 顕之 教授      |
| 久 留 米   | 9月7日(日)  | 草野 顕之 教授      |
| 佐 賀     | 8月23日(土) | 木越 康 准教授      |
| 大 分     | 8月30日(土) | 藤嶽 明信 教授      |
| 北 九 州   | 8月22日(金) | 木越 康 准教授      |
| 長 崎     | 8月29日(金) | 藤嶽 明信 教授      |
| ※ 熊 本   | 8月26日(火) | 織田 顕祐 教授      |
| 宮 崎     | 8月28日(木) | 織田 顕祐 教授      |
| 鹿 児 島   | 8月27日(水) | 織田 顕祐 教授      |

※「仏教公開セミナー」として、NPO法人「尋源舎」と共催

## 学問のしおり

2007年度はすばらしい気分転換の1年間であった。本学の在外研究員としてハーヴァード大学に1年間留学するチャンスを得たからだ。私の専門は仏教学だが、そのなかでもインドの古典言語であるサンスクリットで書かれた文献の解読を中心に研究している。

仏教研究にはいくつものハードルがある。最大のハードルはサンスクリット、パーリ語、チベット語、古典中国語など原典読解に不可欠な言語の習得である。そして研究方法論の習得である。私の恩師である大谷大学名誉教授長崎法潤先生は、サンスクリット研究のために留学は二回しなければならないと常々おっしゃっていた。一回はサンスクリットの勉強のためインドに、そしてもう一回は研究方法論を学ぶため欧米にである。欧州ではテキスト校訂を中心とする文献学が中心であるが、米国では思想・哲学として仏教を理解しようという思潮がある。本学は欧州の文献学の伝統を受け継いでいる。

私は仏教を勉強するには大谷大学しかないと考えて伝統ある仏教学科に入学した。仏教を原典から研究するにはサンスクリットを習得しなければならないと考えて大学院時代にインドのマハラシュトラ州立プーナ大学大学院に入学した。プーナ大学のサンスクリット高等研究所の博士課程では新論理学研究の世界的権威であるV. N. ジャー先生から直接サンスクリットを学ぶ幸運に恵まれた。そして今回は哲学的解釈を重視する米国を選んだ。

哲学とはことばの意味決定である。ひとつのことばは多重な意味を含んでいる。そのことばの意味を他のことばとの比較、文脈、思想の流れ、時代背景などあらゆる側面から決定していく作業が哲学的解釈である。この作業もまた言語や方法論の習得と同様に優れた指導者のもとでの訓練が必要である。私の今回の指導教員はパリマル・パティール先生であった。アメリカ生まれ、アメリカ育ちのインド人(国籍は米国なので法的にはアメリカ人)である。



### ハーヴァード・サンスクリット研究

山本 和彦

彼はインド人としてのサンスクリットの語感を身につけており、さらにアメリカ人として米国の複数の大学・大学院で哲学的訓練も受けているので、私の指導教員としてはぴったりの人物であった。

ハーヴァード大学では解脱論の研究を行った。具体的には14世紀の新論理学者ガンゲーシャの著した『タットヴァ・チンターマニ』(真理の如意宝)という論理学書のなかの「解脱章」の解読研究を行った。このテキストのサンスクリット文は単純であり、文法的には簡単に訳せるのだが、専門用語が難解であり、ヒンドゥー教の各学派で使われていることばの意味の理解なしではまったく意味不明である。つまり、サンスクリットから英語や日本語に訳せるが、意味内容がまったくわからない。文献学の限界がここにあると実感した。このテキストに出てくる単語の意味は辞書には載っていない。仏教の無我論や心相続論、ヴェーダーンタ学派の梵我一如の理論や生前解脱論、ミーマー

ンサー学派の祭式論や知行合一論、ヴァイシェーシカ学派の存在論や範疇論、ニヤーヤ学派の認識論や因果論などインド哲学諸学派のさまざまな複雑な議論を前提として書かれているので、これらの予備知識がなければ一行も読めない。さらにはひとつずつの単語の意味さえわからないのである。同じ文章を違う角度から何度も読み返し、様々な意味を考えた結果として、この解釈しかできないという結論に達したとき、さらにその解釈が首尾一貫しており理路整然としたものであるとき、はじめてその文章が読めたと言えるのである。文章が読めてはじめてひとつのことばの意味が決定されるのである。テキストを読むには知識を総動員し、ことばの意味の組み合わせを何通りも試行錯誤するという訓練が必要である。哲学とはスポーツであり、さらに言えば格闘技である。学問とは気力、根気、体力の勝負であるということを学んだ1年間であった。

(やまもと かずひこ 准教授 仏教学)

# 谷大エリア散策

## 第32回 福そばさん(蕎麦店)

北大路橋西詰北側に近い、谷大教職員には長くおなじみの蕎麦店「福そば」さんのご主人・小林幹男さんにお話を伺いました。



小林幹男さん

### —お店はいつ頃からですか

大正10年に祖父母が始めた店です。当初は北大路橋の北西角、今の「グリルはせがわ」さんのお弁当販売コーナーの場所にあり、その隣に移り、現在の場所に引っ越しましたので店舗は3回替わっています。名前の由来は知りませんがずっと「福そば」だったので、当初から蕎麦屋だったのでしょうか。父母、兄と店を継ぎ、私は四代目です。もともと私は大阪で設計士の仕事をしていたのですが、十数年前に兄の後を継ぎました。実は3年前に一度店を閉め、1年後にまた復活したのです。

### —お客さんはどのような方が多いですか

うちのお客さんは圧倒的に中高年の人ですよ。会社員の人や、近所のお年寄りなどが主です。2～3割は学生さんですが、私が思うに、大谷の方よりも、近くに下宿している京産大や府立大の人が多そうですね。

### —谷大との付き合いは

大谷大学とのお付き合いは20年以上になりますか。学食が完備していなかった時代は、毎日3人がかりで大量に配達していました。

現在は当局室や校友センター、企画課などに配達させてもらっています。古くからのお馴染みさんだった先生は、残念ながら退職されていき、今は事務職員の方がよく来てくださっています。サッカー部の監督をされていた瀬戸先生には特にごひいきにいただき、よく学生さんを連れて食べにきていただきました。また、3年ほど前までは、代々アルバイトには谷大の学生さんに来てもらっていました。

昔、昭和20年代の初め頃でしょうか、うちの2階で下宿を営んでいました。店を引退した祖母が専ら学生さんの面倒を見ていました。私はまだ幼い頃でよく覚えていないこともありますが、学生さんとは家族のような付き合いだったと思います。後に教授になられた方もおられましたね。

### —人気のメニューは何ですか

カレー中華そばやカツ丼ですね。店の自慢の品と言われると、にしんそば。にしんそばは健康にも良いですよ。でも学生さんには少々ボリュームが足りないようで、洋食ものを注文されることが多いです。長く観察していると、都会育ちの人はカレーやハンバーグなどの洋食を好み、地方出身の下宿生の方はうどん、そばなどの麺類がお口に合うようですね。



人気メニューの一品

### —昔の商店街の様子について

私が子供の頃は、賀茂川の向こうは一面田んぼで、自然が多く、まるで違う風景でした。商店街のお店の数はもっと多くて、今よりずっと賑わっていました。うちのすぐ前に市電の終点の停留所があり、植物園へ行くお客さんが大勢乗り降りされていました。40年以上前のことですが、北大路通に週1回夜店が並び、遠くからもお客さんがたくさん来られて大変賑やかでした。市電から地下鉄に変わり、ビブレやコンビニができて人の流れが劇的に変わってしまいました。残念ですが商店街も次々に店が少なくなり、時代の変化とはいえ寂しいですね。



お店の外観

### —お店の最もお忙しいときは

店は水曜以外は毎日営業し、中休みをとらず夜までずっと開けています。土日祝日と季節では春秋、ゴールデンウィークの頃が忙しいです。特に葵祭と大文字の日が一年で一番忙しい日ですが、それでもお客さんは年々減っていますね。娯楽が変化してしまっているのが仕方のないことですが、昔はお祭りや大文字を観ることが大きな楽しみだったのですよ。

### —ありがとうございました

# 研究室だより

## 総合研究室から

7月から9月までの総合研究室内の開室時間は以下のとおりです。  
定期試験、夏期休暇等により開室時間の変更があるので、注意してください。

### ○定期試験期間の開室延長について

定期試験1週間前の7月16日から31日までの平日(青字)は、開室時間を1時間延長し20時30分閉室となります。

| 7月 | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |   |
|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5 |
|    | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |   |
|    | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |   |
|    | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |   |
|    | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |    |   |

### ○夏期休暇期間の開室について

夏期休暇期間(8月2日から9月17日)は、平日のみの開室となります。  
8月2日(土)・3日(日)・9月13日(土)はオープンキャンパスにより開室となります。

| 8月 | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  | 2  |
|    | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
|    | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|    | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|    | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|    | 31 |    |    |    |    |    |    |

### ○オープンキャンパス期間の開室時間について

7月21日(月祝) 9時開室 20時30分閉室  
8月4日(月) 9時開室 19時30分閉室  
8月2日(土)・3日(日)・9月13日(土)  
10時開室 17時30分閉室

| 9月 | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |   |   |   |   |   |
|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|
|    |    |    |    |    |    |    | 1  | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|    | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |   |   |   |   |   |
|    | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |   |   |   |   |   |
|    | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |   |   |   |   |   |
|    | 28 | 29 | 30 |    |    |    |    |   |   |   |   |   |

黒 は、響流館の休館日(8月9日から18日は大学事務休止日)

黒 は、10時開室 17時30分閉室

黒 は、9時開室 19時30分閉室

青 は、9時開室 20時30分閉室

開室日や開室時間の変更は、ホームページ・学内掲示板でお知らせします。  
ご確認ください。

## 短期仏教科研究室から

○『仏教研究紀要』第30号が発刊されました。ご希望の方は、短期仏教科研究室までお越しください。

# 学会だより

### 大谷学会

研究発表会を開催します。

日時 10月下旬 12時50分～  
会場 響流館3階メディアホール  
発表者 福田 洋一 教授  
矢野のり子 教授  
山田 恵文 講師  
渡部 洋 准教授

発表題目等は、掲示・ポスターにてご確認ください。  
当日、授業のある方には欠席事由証明書を交付します。

### 真宗学会

日時 10月1日(水)14時30分～16時10分  
場所 尋源講堂  
発表者 玉光 真人(博士後期課程第2学年)  
岩倉 彰則(博士後期課程第2学年)

日時 10月22日(水)14時30分～16時10分  
場所 尋源講堂  
発表者 藤原 智(博士後期課程第2学年)  
後藤 智道(博士後期課程第2学年)

### 真宗学会大会

日時 10月23日(木)15時～  
場所 未定  
講師 藤嶽 明信 教授  
細谷 昌志 氏(大阪大学名誉教授)

### 修士論文中間発表

日時 11月上旬  
場所 未定

詳細が決まり次第お知らせします。

### 仏教学会

第2学年一泊研修

日時 7月11日(金)～7月12日(土)  
場所 湖西キャンパスセミナーハウス

上記以外にも、研究発表例会や修士論文中間発表会を予定しています。  
詳細が決まり次第お知らせします。

### 宗教学会

「大拙忌」記念公開講演会

日時 7月9日(水)16時10分～18時  
場所 尋源講堂  
講師 長谷 正當 氏(前宗教学会会長)  
講題 空のイメージ化と無限の因果  
—浄土の莊嚴をめぐる—

### 西洋哲学・倫理学会

西洋哲学・倫理学会秋季公開講演会

日時 10月30日(木)16時10分～  
場所 尋源講堂  
講師 中川 純男 氏(慶應義塾大学教授)  
講題 未定

### 日本史の会(国史学会・日本仏教史学会)

日本史の会大会・総会

日時 7月26日(土)13時～(予定)  
場所 響流館3階メディアホール  
研究報告 加藤 基樹 任期制助教  
東館 紹見 准教授  
前田 一郎 氏  
(立命館大学非常勤講師)  
佐々木悦也 氏  
(高月町立観音の里歴史民俗資料館学芸員)

### 日本史の会9月例会

日時 9月27日(土)(予定)

詳細が決まり次第お知らせします。

### 中国文学会

卒業論文中間発表会

10月下旬に開催を予定しています。

詳細が決まり次第お知らせします。

### 国文学会

国文学会大会

日時 10月18日(土)16時～

場所 尋源講堂  
講師 石橋 義秀 教授  
講題 法語文学研究の回顧と展望

### 西洋文学研究会

西洋文学研究会年次大会

日時 7月26日(土)13時30分～  
場所 博覧館5階 第5会議室

1. 総会

2. 研究発表

発表者:宮川 清司 特任教授

タイトル:「自然とヴィジョンの詩学—ワーズワス、コールリッジ、エリオット—」

発表者:芦津かおり 准教授

タイトル:「『ハムレット』の政治化—大岡昇平『ハムレット日記』について(仮題)」

発表者:佐々木茂人 任期制助教

タイトル:「都市文学と郷土文学の間

—J. ミュルベルガーの場合—」

発表者:西尾由利子 非常勤講師

タイトル:「ベルギーの言語教育について」

## 大谷中学校・高等学校からのお知らせ

### ◆同窓会総会の案内（大谷高等学校を卒業した皆さんにお知らせします）

実施日 9月27日(土)、午後6時よりハイアットリージェンシー京都にて開催

年々、参加者が増加し、活気が出てきた大谷高等学校同窓会総会は、今年も上記の場所で実施されますが、その前に新装成った校舎の見学ツアーを計画しています。卒業生の皆さん、この機会に母校を訪れて、新しい校舎を見学し恩師とも言葉をかわしてみたいはいかがでしょうか。また、当日恩師が出張で不在でも、夕方には同窓会会場で会えるかと思っておりますので、ぜひ参加してください。（公立の学校と異なって、大谷高等学校では転勤がありませんので会える可能性が大きいです）

※同窓会事務局からのお知らせ

大谷高校校歌CD（新校歌・旧校歌）完成—希望される方は大谷高校においでください。

無料でさしあげます。（同窓会事務局 新野・高藤）

### ◆今後の今熊野セミナーのお知らせ

すっかり地域の方々と密着し、好評を得ている本校の真城義磨学校長の【今熊野セミナー】は、今年度は、『五濁』について展開されます。既に、1回目『劫濁』（濁った時代を生きるには）、2回目『見濁』（ものの見方・考え方を問う）は5月と6月に実施されましたが、残りの3回分は下記の通りです。関心のある方はご参加ください。

第3回 今熊野セミナー 10月7日(火) 午後2時より4時まで

場所：第一会議室

演題：『煩惱濁』（歪んだ欲望の行方）

第4回 今熊野セミナー 12月5日(金) 午後2時より4時まで

場所：第一会議室

演題：『衆生濁』（人間性を高める教育を）

第5回 今熊野セミナー 1月27日(火) 午後2時より4時まで

場所：第一会議室

演題：『命濁』（いのちを考える）

### ◆オープン・キャンパスのお知らせ

（昨年は小学生とその保護者を併せて約300名、中学生とその保護者を併せて約800名が来校しました。）

第2回オープン・キャンパスは以下の日時に実施しますので、ご家族・親戚等で中学入試・高校入試を考えておられる場合は来校し参考にしてください。

第2回オープン・キャンパス 9月27日(土) 午後1時ごろから実施

内容等は本校のホームページで（2週間前から）お知らせします。

### ◆ニュージーランドホームステイを今年も実施（例年好評の外国へのホームステイ企画）

高校1・2年生対象（自由参加）のニュージーランドホームステイは、7月28日から8月13日まで、17日間で実施されます。参加者は合計22名で、現在英会話を練習しながら、現地の地理・気候・産業などを各自勉強しています。

## 九州大谷短期大学からのお知らせ

### ◆九州大谷短期大学演劇放送フィールド開設30周年記念特別公演『三人姉妹』のお知らせ

九州大谷短期大学が演劇の専門コースを設置して30年。これを記念して学外公演を開催します。表現学演劇放送フィールド29期生が挑戦するのは、チャーホフの『三人姉妹』。入場無料です。

『三人姉妹』作：アントン・チャーホフ

演 出：日下部信（表現学科講師）

舞台監督：古賀裕治（表現学科講師）

照 明：赤司晴彦（表現学科非常勤講師）

音 響：今村和雄（表現学科非常勤講師）

会 場：サザンクス筑後小ホール（福岡県筑後市大字若菜1104）

日 時：2008年7月25日(金) 18:30/26日(土) 14:30

会 場：福岡中央市民センター（福岡市中央区赤坂2丁目5-8）

日 時：2008年7月28日(月) 19:00/29日(火) 14:00

## 出版物紹介

- ◎『Chumchon kap kan pokkhrong  
chiwayan: klum phu tit chuea  
et ai wi phak nuea khong thai  
(コミュニティと統治性 一北部タイ  
におけるHIV感染者グループ)』  
田辺繁治 著  
バンコク：シリントーン人類学センター 刊  
(2008.3) 215頁



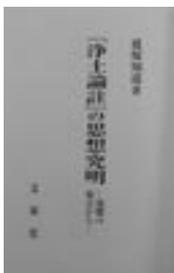
- ◎『光華叢書 5  
ブツダのことばから浄土真宗へ』  
荒牧典俊 著  
京都光華女子大学・真宗文化研究所 編  
自照社 刊  
(2008.3) 201頁



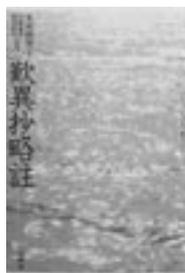
- ◎『真実委員会という選択  
一紛争後社会の再生のために』  
阿部利洋 著  
岩波書店 刊  
(2008.4) 240頁



- ◎『『浄土論註』の思想究明  
一親鸞の視点から一』  
延塚知道 著  
文栄堂書店 刊  
(2008.5) 246頁



- ◎『歎異抄略註』  
多屋頼俊 著  
石橋義秀 監修  
法藏館 刊  
(2008.7) 147頁



- ◎『世界の歴史 6  
一隋唐帝国と古代朝鮮』  
礪波護 共著  
中央公論新社  
(2008.3) 521頁

- ◎『雨の言葉  
ローゼ・アウスレンダー詩集』  
ローゼ・アウスレンダー 著  
加藤丈雄 訳  
思潮社 刊  
(2007.12) 156頁

- ◎『天翔ける祈りの舞：  
チベット歌舞劇アチェ・ラモ三話』  
三宅伸一郎 共訳  
臨川書店 刊  
(2008.3) 288頁

- ◎『旅ともてなしの文化論』  
京都府立大学旅ともてなしの比  
較文化研究会 編  
加藤丈雄 分担執筆  
春風社 刊  
(2008.3) 270頁

- ◎『観海流の伝承とあゆみ』  
山田謙夫 監修  
観海流沝水会 編  
中森一郎 分担執筆  
伊勢新聞社 刊  
(2008.3) 188頁

- ◎『ラオス農山村地域研究』  
横山智・落合雪野 編  
高井康弘・福田恵 分担執筆  
めこん 刊  
(2008.3) 453頁

- ◎『論集 モンスーンアジアの生態史  
～地域と地球をつなぐ～  
第1巻 生業の生態史』  
秋道智彌 監修  
河野泰之 編  
高井康弘 分担執筆  
弘文堂 刊  
(2008.5) 227頁

- ◎『今、いのちがあなたを生きている  
名古屋教区 宗祖親鸞聖人七百五十回  
御遠忌テーマ学習会 講演録』  
教区宗祖親鸞聖人750回御遠忌  
準備委員会 編  
延塚知道 分担執筆  
真宗大谷派名古屋教務所 刊  
(2008.6) 125頁

### [学内刊行物]

- ◎『大谷大学教職支援センター  
研究紀要第2号』  
大谷大学教職支援センター 編・刊  
(2008.3) 254頁

- ◎『差別のない世界を求めて  
一大谷大学における  
人権問題学習の視座一』  
大谷大学 編・刊  
(2008.4) 134頁

- ◎『人権センター叢書vol.6』  
大谷大学人権センター 編・刊  
(2008.5) 71頁

## 学生相談室から



著名な精神療法家との交流が深かったが、一九六〇年の日米合同精神医学会議でも特別講演に招かれて「悩みは概念化から起こる」と発言さ

悩みの起こりやうのない赤ん坊の頃に立ちかえってみれば、そこには動物や植物と同じような生きいきとした生活があるばかりである。それにくらべて知的に優れている大人のほうが悩みをかかえて悶々とし、それを解決するのだと称してさらに余計な悩みを自らに課しているようにみえる姿は、その内容の如何にかかわらず論理の異なる自己意識のなかであつてみれば、まさに主観的虚構性そのものといつてよい。

鈴木大拙名誉教授（一八七〇—一九六六年）はユングとの対談をはじめ、カレン・ホーナイやエーリッヒ・フロムらの

## 宇宙の目から — 鈴木大拙 —

本稿は、大谷大学碩学のひとり鈴木大拙先生が、精神医学界に残された箴言と、その由来です。校医宇佐晋一先生が「学生相談室のコラム」に寄せて、ご執筆いただいたものです。

れ、概念を治療手段として用いることが当然のことのように考えていた日米の精神科医の意表をつく新鮮な地平を示されたのであった。同じ頃メキシコでの禪と精神分析についての会議で「宇宙的無意識」を説かれ、宇宙の目からみた悩みの解決のたしかさが言語を絶してあることを表明されたのである。

（うさ しんいち）

宇佐 晋一

### 学生相談室の開室について

| 場 所              | 曜 日   | 学生相談員            | 開室時間                       |
|------------------|-------|------------------|----------------------------|
| 学生相談室<br>(博綜館1階) | 月曜日   | 谷口奈青理<br>神田 敬子   | 10時30分～16時00分              |
|                  | 火曜日   | 久保 聡史            | 10時30分～16時00分              |
|                  | 水曜日   | 宇佐 晋一<br>(神経科校医) | 13時00分～16時00分<br>(第2週・第4週) |
|                  |       | 神田 敬子            | 10時30分～16時00分              |
|                  | 木曜日   | 讓 西賢             | 10時30分～16時00分              |
| 金曜日              | 久保 聡史 | 10時30分～16時00分    |                            |

### 【学生数】

(2008年6月1日現在)

| 学部    | 学 科     | 第1学年 |      |     | 第2学年 |      |     | 第3学年 |     |     | 第4学年 |     |      | 合 計  |      |     |
|-------|---------|------|------|-----|------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|------|------|------|-----|
|       |         | 男    | 女    | 計   | 男    | 女    | 計   | 男    | 女   | 計   | 男    | 女   | 計    | 男    | 女    | 計   |
| 文学部   | 真宗学科    | 68   | 12   | 80  | 78   | 5    | 83  | 67   | 12  | 79  | 107  | 19  | 126  | 320  | 48   | 368 |
|       | 仏教学科    | 53   | 13   | 66  | 60   | 13   | 73  | 59   | 22  | 81  | 77   | 19  | 96   | 249  | 67   | 316 |
|       | 哲学科     | 57   | 23   | 80  | 59   | 28   | 87  | 59   | 30  | 89  | 69   | 18  | 87   | 244  | 99   | 343 |
|       | 社会学科    | 118  | 62   | 180 | 88   | 76   | 164 | 122  | 79  | 201 | 109  | 98  | 207  | 437  | 315  | 752 |
|       | 史学科     | 3    | 0    | 3   | 51   | 33   | 84  | 41   | 46  | 87  | 56   | 42  | 98   | 151  | 121  | 272 |
|       | 歴史学科    | 71   | 45   | 116 | 0    | 0    | 0   | 0    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0    | 71   | 45   | 116 |
|       | 文学科     | 36   | 58   | 94  | 32   | 45   | 77  | 28   | 65  | 93  | 36   | 61  | 97   | 132  | 229  | 361 |
|       | 国際文化学科  | 60   | 66   | 126 | 55   | 80   | 135 | 51   | 71  | 122 | 56   | 70  | 126  | 222  | 287  | 509 |
|       | 人文情報学科  | 72   | 35   | 107 | 76   | 49   | 125 | 56   | 37  | 93  | 81   | 40  | 121  | 285  | 161  | 446 |
| 文学部合計 | 538     | 314  | 852  | 499 | 329  | 828  | 483 | 362  | 845 | 591 | 367  | 958 | 2111 | 1372 | 3483 |     |
| 大学院   | 修士課程    | 32   | 15   | 47  | 39   | 13   | 52  |      |     |     |      |     |      | 71   | 28   | 99  |
|       | 博士後期課程  | 9    | 5    | 14  | 11   | 1    | 12  | 14   | 5   | 19  |      |     |      | 34   | 11   | 45  |
|       | 大学院合計   | 41   | 20   | 61  | 50   | 14   | 64  | 14   | 5   | 19  |      |     |      | 105  | 39   | 144 |
| 短期大学部 | 仏教科     | 11   | 4    | 15  | 15   | 6    | 21  |      |     |     |      |     |      | 26   | 10   | 36  |
|       | 文化学科    | 9    | 39   | 48  | 13   | 63   | 76  |      |     |     |      |     |      | 22   | 102  | 124 |
|       | 幼児教育保育科 | 16   | 82   | 98  | 14   | 86   | 100 |      |     |     |      |     |      | 30   | 168  | 198 |
|       | 短期大学部合計 | 36   | 125  | 161 | 42   | 155  | 197 |      |     |     |      |     |      | 78   | 280  | 358 |
| 総 合 計 | 615     | 459  | 1074 | 591 | 498  | 1089 | 497 | 367  | 864 | 591 | 367  | 958 | 2294 | 1691 | 3985 |     |

# 2009年度 入学試験日程

## 【大谷大学文学部】

| 試験制度                            | 学 科 ・ コース   | 募集人員                                       | 出 願 期 間                             | 試 験 日   | 合格発表日   | 入学手続締切日  |
|---------------------------------|-------------|--|-------------------------------------|---|---|--|
| 自己推薦入試                          | 真 宗 学 科     | 10名  | 9月16日(火)～<br>9月25日(木)<br>(締切日消印有効)  | 第1次審査 (書類選考)  | 10月3日(金)                                      | 第1次 11月12日(火)<br>第2次 1月27日(火)<br>(いずれも締切日消印有効) |
|                                 | 仏 教 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 哲 学 学 科     | 10名  |                                     | 第2次審査 (面接)<br>10月11日(土)                                   | 10月21日(火)                                     |  |
|                                 | 社 会 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 歴 史 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 国 際 文 化 学 科 | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 人 文 情 報 学 科 | 10名  |                                     |   |   |  |
| 公募制推薦入試<br>(A方式=小論文型)           | 真 宗 学 科     | 10名  | 10月20日(月)～<br>11月4日(火)<br>(締切日消印有効) | 11月15日(土) 午後<br>11月16日(日) 午後<br>(試験日自由選択制)                | 11月26日(火)                                     | 第1次 12月11日(火)<br>第2次 1月27日(火)<br>(いずれも締切日消印有効) |
|                                 | 仏 教 学 科     | 8名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 哲 学 学 科     | 8名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 社 会 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 歴 史 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 国 際 文 化 学 科 | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 人 文 情 報 学 科 | 10名  |                                     |   |   |  |
| 公募制推薦入試<br>(B方式=1教科型)           | 真 宗 学 科     | 10名  | 10月20日(月)～<br>11月4日(火)<br>(締切日消印有効) | 11月16日(日)<br>午前   | 11月26日(火)                                     | 第1次 12月11日(火)<br>第2次 1月27日(火)<br>(いずれも締切日消印有効) |
|                                 | 仏 教 学 科     | 8名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 哲 学 学 科     | 8名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 社 会 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 歴 史 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 国 際 文 化 学 科 | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 人 文 情 報 学 科 | 10名  |                                     |   |   |  |
| 一般入試 [第1期]<br>(3教科型)            | 真 宗 学 科     | 18名  | 1月7日(水)～<br>1月20日(火)<br>(締切日消印有効)   | 2月7日(土)<br>2月8日(日)<br>(試験日自由選択制)                          | 2月19日(木)                                      | 第1次 3月 2日(月)<br>第2次 3月18日(水)<br>(いずれも締切日消印有効)  |
|                                 | 仏 教 学 科     | 14名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 哲 学 学 科     | 14名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 社 会 学 科     | 25名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 歴 史 学 科     | 30名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 文 学 学 科     | 18名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 国 際 文 化 学 科 | 25名  |                                     |   |   |  |
| 一般入試 [第1期]<br>(2教科型)            | 真 宗 学 科     | 10名  | 1月7日(水)～<br>1月20日(火)<br>(締切日消印有効)   | 2月9日(月)<br>2月10日(火)<br>(試験日自由選択制)                         | 2月19日(木)                                      | 第1次 3月 2日(月)<br>第2次 3月18日(水)<br>(いずれも締切日消印有効)  |
|                                 | 仏 教 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 哲 学 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 社 会 学 科     | 15名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 歴 史 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 文 学 学 科     | 10名  |                                     |   |   |  |
|                                 | 国 際 文 化 学 科 | 15名  |                                     |   |   |  |
| 一般入試 [第2期]                      | 真 宗 学 科     | 4名   | 2月16日(月)～<br>2月26日(木)<br>(締切日消印有効)  | 3月9日(月)   | 3月13日(金)                                      | 3月18日(火)<br>(締切日消印有効)                          |
|                                 | 仏 教 学 科     | 3名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 哲 学 学 科     | 3名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 社 会 学 科     | 5名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 歴 史 学 科     | 5名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 文 学 学 科     | 4名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 国 際 文 化 学 科 | 5名   |                                     |   |   |  |
| 一 般 入 試<br>[大学入試センター<br>試験利用入試] | 真 宗 学 科     | 4名   | 1月7日(水)～<br>1月16日(金)<br>(締切日消印有効)   | 1月17日(土)<br>1月18日(日)<br>大学入試センター試験<br>(本学での個別学力試験等は課さない。) | 2月19日(木)                                      | 第1次 3月 2日(月)<br>第2次 3月18日(水)<br>(いずれも締切日消印有効)  |
|                                 | 仏 教 学 科     | 3名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 哲 学 学 科     | 3名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 社 会 学 科     | 5名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 歴 史 学 科     | 5名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 文 学 学 科     | 4名   |                                     |   |   |  |
|                                 | 国 際 文 化 学 科 | 5名   |                                     |   |   |  |
| 第 3 学 年<br>外国人留学生推薦編入学試験        | 各コース        | 中華人民共和国<br>東北師範大学<br>首都師範大学<br>以上各1名以内[注3] | 5月19日(月)～<br>5月30日(金)               | 7月15日(火)<br>筆記・面接   | 7月18日(金)                                      | 第1次 11月12日(火)<br>第2次 1月27日(火)                  |
| 第 3 学 年<br>社会人編入学試験             | 各コース        | 若干名<br>[注3]                                | 9月22日(月)～10月2日(木)<br>(締切日消印有効)      | 10月19日(日)<br>小論文・面接                                       | 10月28日(火)                                     | 第1次 11月12日(火)<br>第2次 1月27日(火)<br>(いずれも締切日消印有効) |
| 第3学年推薦編入<br>[前期日程]<br>[注1]      | 各コース        | 72名以内<br>[注4]                              | 9月22日(月)～10月8日(火)<br>(締切日消印有効)      | 10月19日(日)<br>面接   | 10月28日(火)                                     | 第1次 11月12日(火)<br>第2次 1月27日(火)<br>(いずれも締切日消印有効) |
| 11月14日(金)～12月3日(水)<br>(締切日消印有効) |             |  | 12月13日(土)<br>面接                     | 12月22日(月)   | 第1次 1月27日(火)<br>第2次 3月18日(水)<br>(いずれも締切日消印有効) |  |
| 第 3 学 年<br>一般編入学試験              | 各コース        | 若干名<br>[注3]                                | 1月26日(月)～2月10日(火)<br>(締切日消印有効)      | 2月26日(木)<br>筆記・面接   | 3月6日(金)                                       | 3月18日(火)<br>(締切日消印有効)                          |

- [注1] 大谷大学短期大学部文化学科、九州大谷短期大学を2008年度前期卒業、又は卒業見込者に限る。  
 [注2] 大谷大学短期大学部仏教科・幼児教育保育科、九州大谷短期大学、その他の指定短大を2008年度前期卒業、又は卒業見込者に限る。  
 [注3] 社会学科(社会福祉学コース・臨床心理学コース)・人文情報学科全コースは募集しない。  
 [注4] 募集コース・人数は指定短大ごとに異なる。大谷大学短期大学部・九州大谷短期大学では社会学科(臨床心理学コース)、その他の指定短大では社会学科(社会福祉学コース・臨床心理学コース)・人文情報学科全コースの募集はしない。

## 【大谷大学短期大学部】

| 試験制度                            | 学 科     | 募集人員 | 出 願 期 間                             | 試 験 日  | 合格発表日     | 入学手続締切日  |
|---------------------------------|---------|------|-------------------------------------|--|-----------|--|
| 自己推薦入試                          | 仏 教 科   | 10名  | 9月16日(火)～<br>9月25日(木)<br>(締切日消印有効)  | 第1次審査 (書類選考)<br>第2次審査(面接)10月11日(土)                   | 10月3日(金)  | 第1次 11月12日(火)<br>第2次 1月27日(火)<br>(いずれも締切日消印有効) |
|                                 | 幼児教育保育科 | 10名  |                                     |  |           |  |
| 公募制推薦入試<br>(A方式=小論文型)           | 仏 教 科   | 5名   | 10月20日(月)～<br>11月4日(火)<br>(締切日消印有効) | 11月15日(土) 午後<br>11月16日(日) 午後<br>(試験日自由選択制)           | 11月26日(火) | 第1次 12月11日(火)<br>第2次 1月27日(火)<br>(いずれも締切日消印有効) |
|                                 | 幼児教育保育科 | 10名  |                                     |  |           |  |
| 公募制推薦入試<br>(B方式=1教科型)           | 仏 教 科   | 5名   | 10月20日(月)～<br>11月4日(火)<br>(締切日消印有効) | 11月15日(土)<br>午前                                      | 11月26日(火) | 第1次 12月11日(火)<br>第2次 1月27日(火)<br>(いずれも締切日消印有効) |
|                                 | 幼児教育保育科 | 10名  |                                     |  |           |  |
| 一般入試 [第1期]                      | 仏 教 科   | 10名  | 1月 7日(水)～<br>1月20日(火)<br>(締切日消印有効)  | 2月7日(土)<br>2月8日(日)<br>(試験日自由選択制)                     | 2月19日(木)  | 第1次 3月 2日(月)<br>第2次 3月18日(水)<br>(いずれも締切日消印有効)  |
|                                 | 幼児教育保育科 | 16名  |                                     |  |           |  |
| 一般入試 [第2期]                      | 仏 教 科   | 5名   | 2月16日(月)～<br>2月26日(木)<br>(締切日消印有効)  | 3月9日(月)  | 3月13日(金)  | 3月18日(火)<br>(締切日消印有効)                          |
|                                 | 幼児教育保育科 | 4名   |                                     |  |           |  |
| 一 般 入 試<br>[大学入試センター<br>試験利用入試] | 仏 教 科   | 2名   | 1月7日(水)～<br>1月16日(金)<br>(締切日消印有効)   | 1月17日(土)・18日(日)<br>大学入試センター試験<br>(本学での個別学力試験等は課さない。) | 2月19日(木)  | 第1次 3月 2日(月)<br>第2次 3月18日(水)<br>(いずれも締切日消印有効)  |
|                                 | 幼児教育保育科 | 4名   |                                     |  |           |  |

## 【大谷大学大学院】

| 試験制度            | 課 程                    | 募集人員             | 出 願 期 間                            | 試 験 日                        | 合格発表日     | 入学手続締切日  |
|-----------------|------------------------|------------------|------------------------------------|------------------------------|-----------|--|
| 秋 季 試 験         | 修 士 課 程                | 各専攻共<br>定員の50%程度 | 9月22日(月)～<br>10月2日(木)<br>(締切日消印有効) | 10月18日(土) 筆記<br>10月19日(日) 面接 | 10月28日(火) | 第1次 11月12日(火)<br>第2次 1月27日(火)<br>(いずれも締切日消印有効) |
|                 |                        |                  | 9月29日(月)～<br>10月31日(金)             | 12月13日(土)<br>筆記・面接           | 12月22日(月) | 1月27日(火)                                       |
| 外 国 人 留 学 生 入 試 | 博 士 後 期 課 程<br>修 士 課 程 | 若干名<br>若干名       | 9月22日(月)～<br>10月2日(木)<br>(締切日消印有効) | 10月18日(土)<br>小論文・面接          | 10月28日(火) | 第1次 11月12日(火)<br>第2次 1月27日(火)<br>(いずれも締切日消印有効) |
|                 |                        |                  | 1月26日(月)～<br>2月10日(火)<br>(締切日消印有効) | 2月27日(金) 筆記<br>2月28日(土) 面接   | 3月6日(金)   | 3月18日(火)<br>(締切日消印有効)                          |

## 2008年度 後期 生涯学習講座案内

大谷大学では様々な教養を身につけたい方に、本学の知的資産をベースとした生涯学習講座を開講しています。本学ならではの宗教・信仰を求めていく講座、現代社会をいかに生きるのかをテーマとする講座、京都の文化の奥深さを知る講座など、切り口は多様ですが、共通するテーマは「人間」です。大谷大学の生涯学習講座にご期待ください。

## 開放セミナー

## ○大乘仏教のあゆみ ー親鸞の眼を通してー &lt;協賛：NPO法人尋源舎&gt;

## ー概要ー

2011年の宗祖親鸞聖人750回御遠忌を記念した開放セミナー「大乘仏教のあゆみー親鸞の眼を通してー」を開講します。

親鸞の『正信偈』や『高僧和讃』にでてくる七高僧(龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然)はどんな人たちだったのでしょうか。親鸞はまた、仏教が日本に伝わるはじまりに聖徳太子を置き「和国の教主」として称えています。

本講座は、仏教がインドで生まれ中国を経て日本に伝わり、さらなる展開を遂げていく様子を、真宗学・仏教学・歴史学の各分野の視点から学ぶものです。

学長による総論(2007年度後期)によってスタートし、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然・聖徳太子(2010年度前期)の“人と思想”をテーマにして本学教員がリレー講義を行い、親鸞の眼を通した大乘仏教のあゆみを明らかにしていきます。

■開放セミナー「大乘仏教のあゆみ」は、NPO法人尋源舎の協賛を得て、開催いたします。

## ー開講計画ー (※は終了しました)

|        | 前期 5～7月   | 後期 10～12月 | 冬期 2月～3月 |
|--------|-----------|-----------|----------|
| 2007年度 |           | ①総論(3回)※  | ②龍樹(6回)※ |
| 2008年度 | ③天親(6回)※  | ④曇鸞(6回)   | ⑤道綽(6回)  |
| 2009年度 | ⑥善導(6回)   | ⑦源信(6回)   | ⑧法然(6回)  |
| 2010年度 | ⑨聖徳太子(6回) |           |          |



## ○大乘仏教のあゆみ ー親鸞の眼を通してー④ 「他力の仏道ー曇鸞ー」

## ー概要ー

曇鸞は北魏の時代に、山西省北部の五台山の近くで生まれました。『大集経』の注釈中に病にたおれた曇鸞は、江南の道士陶弘景を訪ね、不老長寿の仙術を伝授されます。しかしその帰途、菩提流支から『観無量寿経』をさずかり、仙術をすてて浄土の教えに帰依しました。天親の『浄土論』を注釈した『浄土論註』において、曇鸞は「浄土」の意義を詳しく論じ、「願生浄土」の仏道を明らかにしました。

梁の武帝(蕭王)は、曇鸞を「鸞菩薩」と称してつねに礼拝したとされます。他力の仏道に徹した曇鸞をたたえて、親鸞聖人は次のような和讃をよんでいます。

本師曇鸞大師をば 梁の天子蕭王は

おわせしかたにつねにむき 鸞菩薩とぞ礼しける (『高僧和讃』)

今回の講座では、曇鸞が生きた時代や地域に留意しながら、その生涯と思想を学び、親鸞の思想との関わりを考えてみたいと思います。

講師 延塚 知道(大谷大学教授)  
山野 俊郎(大谷大学教授)  
桂華 淳祥(大谷大学教授)

開講日 10月29日・11月5日・12日・26日・  
12月3日・10日(水曜日)

時間 18:00～19:30

定員 100名

会場 メディアホール

受講料 6,000円(税込)

申込締切 10月22日(水) 当日消印有効

## ○「目ごとになみだをかけにける -『心中天網島』の世界-」

### —概要—

近松門左衛門の最高傑作、『心中天網島』は、紙屋治兵衛という、どこにでもいるような商人を主人公に、人間の普遍的な悲しみをうたい上げた、真の悲劇です。真の悲劇である故に、娯楽性を要求される興行ということになると、改作されて上演されるのが普通でした。しかし、原作の完成度は、日本文学史の中でも屈指のものです。その重量感のある研ぎすまされた悲しくも美しい世界を、御一緒に味わってみたいと思います。

### —講座内容—

|                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| (1) 近松門左衛門 -時代物と世話物- | 講 師 沙加戸 弘 (大谷大学教授)     |
| (2) 河庄 -十夜の客-        | 開講日 10月9日・16日・23日・30日・ |
| (3) 河庄 -心がわり-        | 11月6日・13日 (木曜日)        |
| (4) 紙屋内 -起請文-        | 時 間 18:00~19:30        |
| (5) 紙屋内 -さんがからくり-    | 定 員 100名               |
| (6) 心中 -かなしきことを美しく-  | 会 場 メディアホール            |
|                      | 受講料 6,000円 (税込)        |
|                      | 申込締切 10月2日(木) 当日消印有効   |

## 紫 明 講 座

## ○「宗教社会学入門」

### —概要—

宗教社会学は宗教と社会の関係を社会学の方法で研究します。現代において重要なテーマは世俗化と原理主義に関するものです。先進諸国では宗教の社会的影響力は低下傾向にありますが、イスラム圏など地域的には高揚傾向にあります。非常に大きなテーマで簡単に論じることはできませんが、宗教社会学の見方を紹介しますので、宗教社会学に関心を持っていただきたく思います。また、具体的な例として、なぜオウム事件が起きたのかを考えましょう。

### —講座内容—

|             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| (1) 世俗化論争   | 講 師 寺林 脩 (大谷大学教授)           |
| (2) 原理主義の台頭 | 開講日 10月31日・11月14日・21日 (金曜日) |
| (3) オウム事件   | 時 間 18:00~19:30             |
|             | 定 員 100名                    |
|             | 会 場 メディアホール                 |
|             | 受講料 3,000円 (税込)             |
|             | 申込締切 10月24日(金) 当日消印有効       |

詳細なパンフレットをご希望の方は、下記までお問合せください。  
また受講申し込みの際には、ハガキ、FAX、Eメールいずれかにて、  
①講座名 ②氏名・フリガナ ③郵便番号・住所 ④電話番号を明記してください。

### — 連絡先 —

教育研究支援課KO係  
TEL: 075-411-8161 FAX: 075-411-8162 E-mail: opensemi@sec.otani.ac.jp

※講座名、日程、受講料など変更になる場合があります。その旨ご了承くださいませようお願いたします。

# 財務の概況

## 大谷大学 大谷大学短期大学部

### ——大谷大学・大谷大学短期大学部 2007年度決算——

2007年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、5月23日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理されています。また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年決算承認後文部科学大臣に届け出しています。

## ■資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度の教育研究等の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。したがって、資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金なども含まれます。資金支出には、人件費や教育研究にかかる経費、学生募集・広報など管理部門にかかる経費、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出などが含まれます。

### 資金収支の概況

資金収支計算書に基づいて概要を説明いたします。

2007年度の収入（「収入の部合計」－「前年度繰越支払資金」）は、52億7500万円、支出（「支出の部合計」－「次年度繰越支払資金」）は52億300万円となりました。

収入の部では、学生生徒等納付金収入が前年度比3.6%減の42億2000万円となりました。手数料収入は、前年度から大幅な減収となり昨年度比25.7%減の1億600万円となりました。これは、手数料収入の大半を占める入学検定料収入が大幅に減収したためです。

寄付金収入では、前年度比9.1%減の1億8400万円となりました。この中には、奨学金としていただいた寄付100万円、また寄付講座の開設費用としていただいた15万円のほか、NPO法人尋源舎から公開講座協賛金としていただいた40万円が含まれています。

補助金収入では3.1%増の4億3700万円、資産運用収入では、預金利率の上昇もあり79.3%増の1億2700万円となりました。事業収入では、受託研究収入2件を含めて、6600万円となりました。

支出の部では、人件費支出が、ほぼ前年度並みの27億1900万円となりました。

学生の皆さんの教育研究および学生生活にかかわる教育研究経費もほぼ前年並みの10億7000万円となりました。この中には、海外語学研修や海外文化研

修、各種就職講習などにかかった経費が含まれています。総務、経理、学生募集、広報に関する管理経費は、前年度比7.7%減の4億1200万円となりました。

施設関係支出では、1号館の教室の空調設備の改修や講堂の映像設備、総合研究室の無線LANの設備、湖西キャンパスのバックネットの拡張工事などに3200万円を支出しました。また、設備関係支出では、教育研究用の備品や図書館に所蔵する図書などに1億600万円を支出しました。その中には、博物館の資料として「洛中洛外図屏風」の購入費等が含まれています。

資産運用支出では、将来の校舎の整備や教育研究に使用する機器の更新のために7億円を積み立てました。

2007年度資金収支計算書（2007年4月1日～2008年3月31日）（単位 円）

| 収入の部        |                | 支出の部      |                |
|-------------|----------------|-----------|----------------|
| 科目          | 金額             | 科目        | 金額             |
| 学生生徒等納付金収入  | 4,220,365,518  | 人件費支出     | 2,719,115,118  |
| 手数料収入       | 106,416,640    | 教育研究経費支出  | 1,070,394,448  |
| 寄付金収入       | 183,725,400    | 管理経費支出    | 412,404,476    |
| 補助金収入       | 437,100,853    | 借入金等利息支出  | 30,330,300     |
| 国庫補助金収入     | 435,829,000    | 分担金支出     | 10,000,000     |
| 地方公共団体補助金収入 | 355,189        | 借入金等返済支出  | 111,100,000    |
| その他の補助金収入   | 916,664        | 施設関係支出    | 31,682,804     |
| 資産運用収入      | 127,323,165    | 設備関係支出    | 105,735,110    |
| 事業収入        | 66,149,900     | 資産運用支出    | 700,130,875    |
| 雑収入         | 160,359,824    | その他の支出    | 53,738,681     |
| 前受金収入       | 770,567,750    |           |                |
| その他の収入      | 137,873,890    |           |                |
| 資金収入調整勘定    | △934,659,911   | 資金支出調整勘定  | △41,327,690    |
| 前年度繰越支払資金   | 7,324,901,216  | 次年度繰越支払資金 | 7,396,820,123  |
| 収入の部合計      | 12,600,124,245 | 支出の部合計    | 12,600,124,245 |

## ■消費収支計算書

消費収支計算書は、授業料や寄付金など負債とされない収入（帰属収入）と、施設・設備関係の減価償却額や資産の除却額などを含む、その年度に消費する支出（消費支出）との内容及び均衡の状態を明らかにするものです。すなわち、その年度の負債以外の収入と、人件費や諸経費などのいわゆるコストを比べ、バランスが取れているかを見るためのものです。

教育研究を提供する学校法人は、学校を永続的に維持する責任がより一層求められています。そのためには、資金収支の整合性が取れているだけでなく、帰属収入から必要な資産を継続的に保持するために組入れる基本金への組入額を引いた額（消費収入）と、消費支出とのバランスを見ることによって、当該年度だけでなく、将来的な財政の健全性を見ることが重要になってきます。この点、資金収支計算書に比べ消費収支計算書は、長期的な観点をもっているものといえます。

## 消費収支の概況

資金収支計算書と重複する項目を除いて説明します。収入では寄付金の中に、金額換算した現物寄付1300万円が含まれています。その中には、教育後援会から寄贈していただいた教室のプロジェクターの設備や教員在籍確認用のタッチパネルなどが含まれています。

帰属収入の合計は前年度比3.1%減の53億2100万円となりました。

支出では、教育研究経費と管理経費の中に含まれる減価償却額が教育では5億5800万円、管理では1900万円となっています。また、古くなった備品等を処分しましたので、資産処分差額として1200万円ほどを支出しています。消費支出の部合計では前年度比5.5%減の48億1300万円となりました。

2007年度に大学隣接地の購入を予定していましたが、年度内に支払いを含む手続きが完了しなかったことなどもあり、当年度消費収入超過額が2億1800万円となり、翌年度繰越消費収入超過額は44億3500万円となりました。

2007年度消費収支計算書（2007年4月1日～2008年3月31日）（単位 円）

| 消費収入の部    |               | 消費支出の部       |               |
|-----------|---------------|--------------|---------------|
| 科 目       | 金 額           | 科 目          | 金 額           |
| 学生生徒等納付金  | 4,220,365,518 | 人件費          | 2,699,313,183 |
| 手数料       | 106,416,640   | 教育研究経費       | 1,629,880,793 |
| 寄付金       | 197,088,049   | （うち減価償却額）    | (557,716,618) |
| 補助金       | 437,100,853   | 管理経費         | 431,904,185   |
| 国庫補助金     | 435,829,000   | （うち減価償却額）    | (19,208,859)  |
| 地方公共団体補助金 | 355,189       | 借入金等利息       | 30,330,300    |
| その他の補助金   | 916,664       | 分担金          | 10,000,000    |
| 資産運用収入    | 127,323,165   | 資産処分差額       | 11,576,533    |
| 事業収入      | 66,149,900    | 徴収不能引当金繰入額   | 225,000       |
| 雑収入       | 166,548,471   | 消費支出の部合計     | 4,813,229,994 |
| 帰属収入合計    | 5,320,992,596 | 当年度消費収入超過額   | 217,884,782   |
| 基本金組入額合計  | △289,877,820  | 前年度繰越消費収入超過額 | 4,217,214,380 |
| 消費収入の部合計  | 5,031,114,776 | 翌年度繰越消費収入超過額 | 4,435,099,162 |

## 貸借対照表

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、膨大な施設や設備など各種の運用財産を必要とします。貸借対照表は、これらの財産の保有状況を表し、教育研究に必要な財産が適正に維持管理

されているかどうかを示すものです。この貸借対照表はその意味で重要であり、消費収支計算書とともに長期的な観点を持つものといえます。

ここでの資産は、保有する土地、建物、現金預金などを示し、負債とは、借入金や退職給与引当金など、いずれ支出となっていくものを示します。基本金は、学校法人が必要な資産を永続的に維持するために、帰属収入のうちから組入れたものです。この基本金と消費収支差額の合計が正味財産となります。

## 貸借対照表の概況

ここに掲載した貸借対照表は、大谷大学・大谷大学短期大学部を設置する学校法人真宗大谷学園全体のものです。学校法人真宗大谷学園は、大谷大学・大谷大学短期大学部のほか、九州大谷短期大学、大谷高等学校、大谷中学校、大谷幼稚園を設置しています。

資産の総額は、483億4400万円で、前年度に比べて6100万円の増加となりました。内訳は、土地、建物、備品、図書および引当特定資産などの固定資産が385億1100万円、現金預金などの流動資産が98億3300万円となっています。

負債の合計は、49億900万円で、前年度に比べて2億5600万円の減少となりました。内訳は、退職給与引当金などの固定負債が34億7400万円、未払金や前受金などの流動負債が14億3500万円となっています。

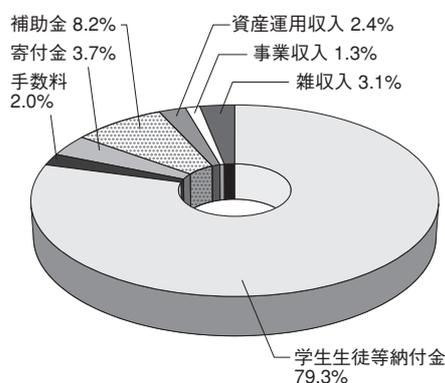
基本金は、391億7000万円となり、前年度に比べて2億2400万円の増加となっています。

貸借対照表  
真宗大谷学園総括表  
(2008年3月31日)

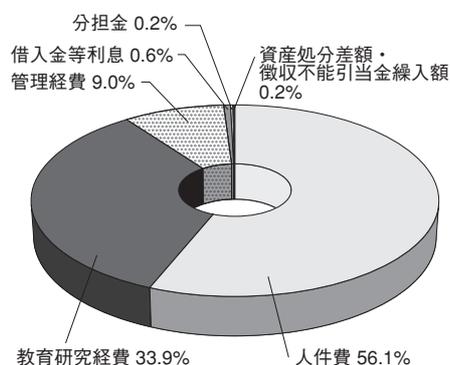
(単位 円)

| 資産の部      |                | 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 |                |
|-----------|----------------|----------------------|----------------|
| 科 目       | 2007年度末        | 科 目                  | 2007年度末        |
| 土地        | 8,821,308,764  | 長期借入金                | 1,425,370,000  |
| 建物        | 12,163,201,161 | 退職給与引当金              | 2,048,530,166  |
| 構築物       | 491,658,725    | 固定負債計                | 3,473,900,166  |
| 教育研究用機器備品 | 655,953,897    | 短期借入金                | 151,360,000    |
| その他の機器備品  | 26,467,309     | 未払金                  | 88,445,146     |
| 図書        | 3,523,419,546  | 前受金                  | 1,097,760,050  |
| 車輛        | 5,532,214      | 預り金                  | 97,762,519     |
| 建設仮勘定     | 2,394,000      | 流動負債計                | 1,435,327,715  |
| 電話加入権     | 3,443,124      | 負債の部合計               | 4,909,227,881  |
| 施設利用権     | 1,224,750      |                      |                |
| 敷金        | 1,090,000      | 第1号基本金               | 34,893,947,894 |
| 預託金       | 161,950        | 第2号基本金               | 3,100,000,000  |
| 長期貸付金     | 126,801,565    | 第3号基本金               | 625,773,346    |
| 引当資産      | 12,688,356,207 | 第4号基本金               | 550,000,000    |
| 固定資産計     | 38,511,013,212 | 基本金の部合計              | 39,169,721,240 |
| 現金預金      | 9,645,946,280  |                      |                |
| 未収入金      | 167,399,827    | 翌年度繰越消費収入超過額         | 4,265,404,385  |
| 貯藏品       | 5,993,216      | 消費収支差額の部合計           | 4,265,404,385  |
| 仮払金       | 9,068,629      |                      |                |
| 前払金       | 3,900,078      |                      |                |
| 立替金       | 1,032,264      |                      |                |
| 流動資産計     | 9,833,340,294  |                      |                |
| 合計        | 48,344,353,506 | 合計                   | 48,344,353,506 |

■2007年度帰属収入の構成比率



■2007年度消費支出の構成比率



## 財 産 目 録

真宗大谷学園総括表

2008年3月31日

|     |          |   |                 |
|-----|----------|---|-----------------|
| I   | 資産総額     | 金 | 48,344,353,506円 |
|     | 内 1 基本財産 | 金 | 25,822,657,005円 |
|     | 2 運用財産   | 金 | 22,521,696,501円 |
| II  | 負債総額     | 金 | 4,909,227,881円  |
| III | 正味財産     | 金 | 43,435,125,625円 |

| 科 目                | 2007年度末                        |
|--------------------|--------------------------------|
| 一 資産額              |                                |
| (一) 基本財産           | 25,822,657,005円                |
| 1 土地               | 160,166.05㎡<br>8,821,308,764円  |
| 大谷大学・大谷大学短期大学部校地   | 85,202.63㎡<br>7,895,139,063円   |
| 九州大谷短期大学校地         | 38,928.29㎡<br>444,635,005円     |
| 大谷高等学校・大谷中学校校地     | 33,039.73㎡<br>457,889,796円     |
| 大谷幼稚園校地            | 2,995.40㎡<br>23,644,900円       |
| 2 建物               | 104,094.12㎡<br>12,163,201,161円 |
| (1) 校舎             | 67,972.03㎡<br>8,113,572,285円   |
| (2) 図書館            | 9,539.61㎡<br>1,714,045,567円    |
| (3) 講堂・体育館         | 19,160.07㎡<br>1,936,505,172円   |
| (4) 寄宿舍            | 7,347.14㎡<br>389,836,945円      |
| (5) その他            | 75.27㎡<br>9,241,192円           |
| 3 図書               | 886,471冊<br>3,523,419,546円     |
| 4 教具・校具・備品         | 20,933点<br>682,421,206円        |
| 5 構築物              | 491,658,725円                   |
| 6 車輛               | 5,532,214円                     |
| 7 電話加入権            | 3,443,124円                     |
| 8 施設利用権            | 1,224,750円                     |
| 9 敷金               | 1,090,000円                     |
| 10 預託金             | 161,950円                       |
| 11 長期貸付金           | 126,801,565円                   |
| 12 建設仮勘定           | 2,394,000円                     |
| (二) 運用財産           | 22,521,696,501円                |
| 1 預金、現金            | 9,645,946,280円                 |
| 現金 現金手許有高          | 3,173,740円                     |
| 普通預金               | 1,120,293,142円                 |
| 定期預金               | 8,472,200,000円                 |
| 当座預金               | 29,842,258円                    |
| 通常貯金               | 11,073,579円                    |
| 振替口座               | 9,363,561円                     |
| 2 積立金              | 12,688,356,207円                |
| 3 貯蔵品              | 5,993,216円                     |
| 4 未収金              | 167,399,827円                   |
| 5 前払金              | 3,900,078円                     |
| 6 仮払金              | 9,068,629円                     |
| 7 立替金              | 1,032,264円                     |
| 資 産 総 額            | 48,344,353,506円                |
| 二 負債額              |                                |
| 1 固定負債             | 3,473,900,166円                 |
| (1) 長期借入金          | 1,425,370,000円                 |
| 日本私立学校振興・共済事業団     | 1,425,370,000円                 |
| (2) 退職給与引当金        | 2,048,530,166円                 |
| 2 流動負債             | 1,435,327,715円                 |
| (1) 短期借入金          | 151,360,000円                   |
| (2) 前受金            | 1,097,760,050円                 |
| (3) 未払金            | 88,445,146円                    |
| (4) 預り金            | 97,762,519円                    |
| 負 債 総 額            | 4,909,227,881円                 |
| 三 正味財産 (資産総額-負債総額) | 43,435,125,625円                |

## 《教育及び学生支援に関する事業》

### ①小学校教諭一種免許取得プログラム導入

神戸親和女子大学通信教育部と提携プログラムをスタートさせ、本学で小学校教諭一種免許が取得できるようになりました。初年度の2007年度は19名が受講しました。

### ②国際交流の促進

中国・イギリス・フランス・インドの4カ国への語学研修、文化研修に115名の学生を派遣しました。また修士課程3名、博士後期課程5名、留学研究生3名の留学生を受け入れたほか、本学学生を韓国の東國大学校や中国の首都師範大学、アメリカのカリフォルニア大学LA校、カナダのトロント大学に送り出しました。さらに韓国釜山で韓国同窓会設立記念式を開催し、元留学生や研修員など14名が参加し、韓国同窓会が発足しました。

### ③オフィスアワーの導入

2007年度より週1コマのオフィスアワーを設け、学生が気軽に研究室を訪問できる体制を整えました。

### ④FD(ファカルティ・ディベロップメント)の実施

FDを積極的に推進するために部会を設置し、外部研修会への参加や学内研修会等を行いました。

### ⑤語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)の取り組み

勉強会や説明会のほか、シネマ上映会、韓国東國大学校研修団との交流会やコーヒーアワーなどのイベントを積極的に行いました。また、留学生のための日本生活ガイド作成や学園祭の模擬店出店など活発に活動しています。

### ⑥実習支援センターの設置

社会福祉援助技術現場実習、幼稚園実習、保育所及び児童福祉施設実習の支援を目的とした実習支援センターを開設しました。センターでは、履修相談のほか実習や社会福祉士国家試験に関する資料、学生が自由に使用できるパソコン等を揃えています。また週に一度実習アドバイザーが勤務し、実習に関する具体的な指導を行っています。

### ⑦学生相談体制の充実

相談員スタッフ会議を開催し、2007年度末には相談室紀要を発行しました。

### ⑧学生の進路・就職支援

各種講習やガイダンスの実施のほかに、キャリア形成支援科目として、「キャリアデザイン・リレー講義」と「インターンシップ2大谷大学」を開講しました。リレー講義は121名、インターンシップは

18名が受講しました。

### ⑨教職支援センターの取り組み

教員採用の実績向上への対策として、「教員受験直前講習」を開講し15名が受講しました。また、「インターンシップ3学校(教職)」では、京都市立旭丘中学・衣笠中学・北野中学・紫野高校の4校に5名が夏期休暇期間中に研修に参加しました。そのほか、『大谷大学教職支援センター研究紀要』創刊号及び第2号を刊行しました。

## 《学術及び研究に関する事業》

### ①学位授与

優れた研究業績をまとめ、博士の学位申請を行った者の中から厳密な審査を経て、2007年度は課程博士8名、論文博士3名、合計11名に対して博士(文学)を授与しました。

### ②真宗総合研究所の研究

学長を代表者とする指定研究として、(1)大谷大学親鸞聖人750回御遠忌記念特別指定研究—親鸞像の再構築— (2)大学史研究 (3)国際仏教研究 (4)西藏文献研究 (5)真宗本廟(東本願寺)造営史研究の5件、一般研究として採択された共同研究6件、個人研究2件、合計13件の研究プロジェクトを推進しました。

## 《組織及び施設に関する事業》

### ①認証評価(第三者評価)への取組

認証評価申請に向けて設置した部会において報告書の作成及び取りまとめを行い、申請資料を提出しました。

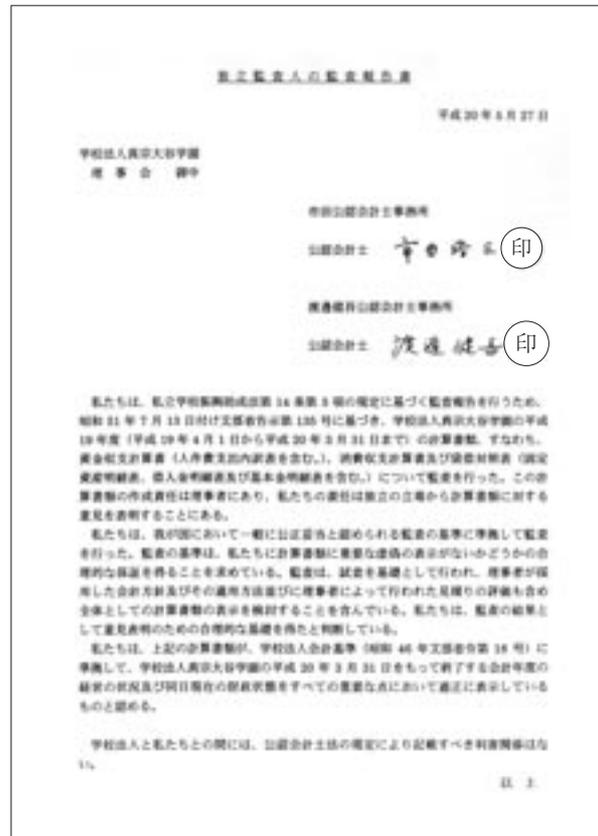
## 《社会への開放》

### ①公開講座の開講

本学教員が講師を務め、開放セミナー、紫明講座などを年間通じて開講しました。2007年度は16テーマの講座を開講し、計803名の受講生がありました。また、地域交流事業として大津市仰木の里における子育てイベントに本学教員や学生が協力したほか、紫明講座の内容を京都府インターネット放送局に提供しました。

### ②博物館

例年のように年1回の特別展と4回の企画展を実施しました。2007年度の特別展は「法隆寺一切経と聖徳太子信仰」をテーマに展示しました。



## ——大谷大学・大谷大学短期大学部 2008年度予算——

2008年度予算は、3月27日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

大谷大学では、仏教精神によって自己を問うことを学びの基本理念としており、「自己とは何か」を問い続け、人間として生きるための智慧を身につけることが何よりも重要なことと考えています。本学に入学した学生の皆さんが、さまざまな「学び」と「出会い」を通して真に人間として身につけなくてはならない智慧を得られるよう、教育研究の拡充とキャンパス環境と施設を整備し、充実した大学生活を過ごせるように予算を編成しました。

2008年度からは、成績評価システムとしてGPA (Grade Point Average)を導入します。この制度は、大学院生を除く文学部(2008年度以降入学・2010年度以降編入学)、短期大学部(2008年度以降入学)の学生を対象にします。GPAを利用し成績が算出されることにより、セメスターごとの学習成果と推移がより明確となり、学生の皆さんの履修状況の確認が容易になります。また、これまでに増して指導教員による的確でよりきめ細かな履修指導を受けることができます。

また就職支援では、キャリア形成支援科目としてキャリアデザイン概論を開講しています。また、学

生の企業選択の幅を広げ、個々人の適正に応じた就職先を紹介できる体制を強化するため、キャリアアドバイザーを配置し、企業の採用動向の把握や新規の求人開拓を積極的に行います。

国際交流では、前年度に引き続き海外大学における短期語学研修や、様々な国の文化を理解するために海外文化研修を実施します。これらの研修を通じ学生の皆さんの国際的な視野を深めることができます。

設備関係では、2007年度に総合研究室に無線LANの設備を導入したことをはじめ、2008年度には幼児教育保育科の研究室、セミナーハウスにも同じく無線LANの設備を導入します。

また、1号館の空調設備をはじめとして、教育・心理学科開設にともなう施設整備を計画的に進めており、2008年度においても順次整備してまいります。

大学就学人口の減少など大学を取り巻く状況は厳しいものがあります。その中で、仏教精神によって自己を問うことを学びの基本理念とする本学に学ぶ学生の皆さんが、輝ける人生を見つけていただけるようサポートするとともに、個性輝く大学として教育研究の一層の拡充を図るために予算を執行してまいります。

(学監・事務局長 長谷岡英信)

## 2008年度資金収支予算書

(2008年4月1日～2009年3月31日)

(単位 円)

学生生徒等納付金収入…授業料や、実習の際に納めてもらう実習料です。

事業収入…寮への入寮費や公開講座の受講料、受託研究による収入などです。

前受金収入…次年度入学者の入学金や授業料などです。

その他の収入…貸与奨学金の返還金などです。

| 収入の部       |                | 支出の部      |                |
|------------|----------------|-----------|----------------|
| 科目         | 金額             | 科目        | 金額             |
| 学生生徒等納付金収入 | 4,150,635,000  | 人件費支出     | 2,929,394,000  |
| 手数料収入      | 105,670,000    | 教育研究経費支出  | 1,241,830,000  |
| 寄付金収入      | 181,000,000    | 管理経費支出    | 530,535,000    |
| 補助金収入      | 413,030,000    | 借入金等利息支出  | 27,998,000     |
| 資産運用収入     | 133,743,000    | 分担金支出     | 10,000,000     |
| 事業収入       | 61,414,000     | 借入金等返済支出  | 111,100,000    |
| 雑収入        | 251,792,000    | 施設関係支出    | 226,500,000    |
| 前受金収入      | 747,280,000    | 設備関係支出    | 106,054,000    |
| その他の収入     | 343,158,000    | 資産運用支出    | 700,430,000    |
|            |                | その他の支出    | 44,980,000     |
|            |                | 予備費       | 20,000,000     |
| 資金収入調整勘定   | △1,003,526,000 | 資金支出調整勘定  | △40,000,000    |
| 前年度繰越支払資金  | 7,396,820,123  | 次年度繰越支払資金 | 6,872,195,123  |
| 収入の部合計     | 12,781,016,123 | 支出の部合計    | 12,781,016,123 |

施設関係支出…土地や建物等の取得にかかる支出です。

設備関係支出…大学の資産となる備品などの取得にかかる支出です。教室の机、パソコン、図書などがこれにあたります。

資産運用支出…将来的な施設充実や機器の更新のための積立てに支出するものです。

その他の支出…前年度経費のうち年度を越えてから支払わなければならない支出や立替金などです。

## 2008年度消費収支予算書

(2008年4月1日～2009年3月31日)

(単位 円)

手数料…入学検定料や証明書発行手数料などです。

寄付金…有志の方々や真宗大谷派および教育後援会から寄付していただいているものが主です。

補助金…国や京都市などからの補助金です。

資産運用収入…預金の利息や大学の施設利用料などです。

| 消費収入の部   |               | 消費支出の部       |               |
|----------|---------------|--------------|---------------|
| 科目       | 金額            | 科目           | 金額            |
| 学生生徒等納付金 | 4,150,635,000 | 人件費          | 2,905,083,000 |
| 手数料      | 105,670,000   | 教育研究経費       | 1,788,924,000 |
| 寄付金      | 189,100,000   | (うち減価償却額)    | (547,094,000) |
| 補助金      | 413,030,000   | 管理経費         | 550,499,000   |
| 資産運用収入   | 133,743,000   | (うち減価償却額)    | (19,964,000)  |
| 事業収入     | 61,414,000    | 借入金等利息       | 27,998,000    |
| 雑収入      | 254,745,000   | 分担金          | 10,000,000    |
|          |               | 資産処分差額       | 750,000       |
|          |               | 予備費          | 20,000,000    |
|          |               | 消費支出の部合計     | 5,303,254,000 |
| 帰属収入合計   | 5,308,337,000 | 当年度消費支出超過額   | 538,571,000   |
| 基本金組入額合計 | △543,654,000  | 前年度繰越消費収入超過額 | 4,435,099,162 |
| 消費収入の部合計 | 4,764,683,000 | 翌年度繰越消費収入超過額 | 3,896,528,162 |

人件費…専任の教職員、非常勤講師、嘱託職員、アルバイト職員などの給与等です。

教育研究経費…教育や研究活動にかかる消耗品や通信費などの経費のことです。

管理経費…人事、総務、経理、職員の福利厚生や学生募集にかかる経費のことです。

### 「大谷大学広報08-秋」発行のお知らせ

「大谷大学広報08-秋」の発行を11月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

- ①博綜館ピロティ（博綜館入口横） ②至誠館（学生支援課カウンター前） ③響流館（図書館、教育研究支援課カウンター）  
④学内食堂 ⑤各研究室 ⑥1号館1階 ⑦2号館1階

また、大谷大学ホームページから、バックナンバーを含め広報の閲覧が可能です。

[http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d\\_kouhou.html](http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d_kouhou.html)

源氏物語千年紀だそうである。それにちなんだ一文を私に依頼するのは、なんと人選ミスである。高校時代の受験参考書で読んだ記憶があるほかには、特に源氏物語を意識したことがなかったので、本当に困ってしまった。2011年が親鸞七百五十回忌だから、それよりさらに二百年くらい前の話だ。一体どんな時代だったのだろうか？

千年紀といえば、昨年、京都国立博物館で、「道長」展を開催していた。藤原道長が、大峯山上に埋経(経典を書写して埋める)してから昨年でちょうど千年目に当たっていたのだ。道長といえば、「このよをば我

が世とぞおもう望月の欠けたることもなしと思えば」という、なんとも思い上がった歌を歌った権力者で、個人的には嫌いだ、その権力者にもどうにもならない不安があったようだ。そのとき道長は、自ら浄写した法華三部経と阿弥陀経と弥勒三部経と般若心経を持って、かなり苦勞して頂上まで上り、賑々しく法要をして(付き合わされた僧侶も大変だった)、金銅の容器に入れてそれを埋めた。そして「釈尊の恩に報いるために、この世で弥勒の成仏に出会い法華経によって授記を受けたい。それまでは阿弥陀経の功德で極楽に生まれてその時を待つのだ。それ故臨

終は取り乱さないようにしたい」と願ったのである。要するに「お前もいずれ仏になる(=苦しみの世界に生まれることはない)」という確かな保証が欲しかったというわけだ。

ところで、この話には重要な伏線がある。985年に比叡山横川の源信によって『往生要集』が著された。それは苦しみの地獄の様子をありありと説き、極楽世界に生まれることを人々に勧める内容の書物である。源氏物語が書かれたのは、仏教が個人の苦しみを救う宗教として日本に根付こうとしていた、そんな時代だったのである。

## 話題の広場 SQUARE

# 千年紀と専念機のあいだ？



絵 内山智廣

織田 顕祐

「御法」と書いて、「みのり」と読む。源氏物語の後半、第四十巻の巻名である。それは、光源氏最愛の女性である紫の上が死んでいく場面である。死んでいく紫の上の悲しみと、亡くなった紫の上に対する夕霧(光源氏の息子で、義理の母にあたる紫の上に一目ぼれしていた)・光源氏の思いを切々と表現していて、心にしみる。葬式も終わった忌中、かねてより密かに心を寄せていた紫の上を思い出しながら、悲嘆にくれる夕霧が思わず念仏する場面がある。数珠を繰り返しながら「アミダホトケ、アミダホトケ」と唱えて必死に悲しみをこらえるのだ。念仏とは、当然ナムアミダブツだと決め付けていたので、アミダホトケという念仏にはちょっと驚いた。確かに仏名を唱える

のが念仏だから、アミダブツ=アミダホトケが文字通りの意味には違いない。さらにこの次の段落には、紫の上を失って夜も日も明けない光源氏が、つらい気持ちを忘れさせてくださいと、まるで親にすがるかのように念仏する場面もある。一体、この時代の念仏とはどういうことだったのか？ どうも私の常識とは異なるようなので調べてみた。

この時代の念仏は、円仁によって中国から輸入された五会(ごえ)念仏にその源流がある。五会念仏とは、五種類の称名念仏の方法のことで、ゆっくり発音するときは「ナムアミダブツ」、一番早いときは「アミダブツ」と定められていた。それで思い出した。以前中国山西省の玄中寺へ参拝したときに、路辺の土産物屋

で電子念仏器という珍妙なものを売っていた。スイッチを入れると「ナ～モア～ミダ～ブ」と悠長に歌い出すのだ。又、先日台湾に行った折には、羽を広げた孔雀に向かって韓国の比丘尼が、「アミタファ、アミタファ」と繰り返していた。私の常識は、非常識だったのだ。源氏物語から親鸞まで二百年、そこに一体どのような展開があったのか、改めて学ばねばならないと思った。

まずは、谷大のすぐ近くにある、紫式部のお墓(北大路堀川下ル西側)にお参りしてから始めよう。

(おだ あきひろ)  
教授 仏教学